

貴族院會議國帝第七十三回
恩給金庫法案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十三年三月十四日(月曜日)午前十時

九分開會

○委員長(三井清一郎君) 是ヨリ開會シマ

○子爵裏松友光君 先達テ 戴キマシタ恩

給金庫設立趣意書ニ依ツテ大體ノ趣旨ハ拜

承致シマシタケレドモ、併シ尙擔保禁止ノ

テ其ノモノノミニ擔保ヲ認ムル方法、此ノ

方法デ十分ニ目的ヲ達スルコトガ出來ハシ

ナイカト思アノテアリマスガ此ノ方法云

フモノヲ御設ケニナツタ趣旨ニ付テ詳細ニ

一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高木三郎君) 恩給金廻り問題

ニモ御意見ノヤウナ案モ實ハアッタノデア

リマス、先日モ法制局長官カラ理由ヲ申上

ケマシ外際ニモ一應御詫問六日上タ一ミ

保禁止ノ規定ヲ全然取ッテシマウカ、或ヘ

モット嚴重ニスルカ、或ハ特ニ一ツノ機關ヲ
設ケルカ、此ノ三ツノ方法ガ考ヘラレタノ
デアリマス、元來ガ年金恩給ノ本質カラ者

コトハ年金恩給ノ本旨デハナイ、年金恩給ノ出來マシタ本來ノ趣旨カラ申シマスト、ソレハ明治天皇陛下ノ有難キ思召カラ出來マシタノデアリマシテ、國家ニ功績ノアッタ者ニ對シテ終身生活ノ資ヲ與ヘルト云フコトガ本來ノ趣旨ニ功績ノアリマシタ者ノ遺族ニ對シテ終身生活ノ資ヲ與ヘルト云フコトガ本來ノ趣旨デアリマスルノデ、之ヲ擔保トシテ金融スルト云フヤウナコトハ、本來カラ申シマシタナラバ、望マシキコトデハナイノデアリマス、併ナガラ實際ノ狀況ヲ考ヘマスレバ之ヲ擔保トスル金融ガ殆ド公然ノヤウニ行ハレテ居リマスノデ、矢張リソコニ一ツノ缺陷ガアル、其ノ缺陷ヲ絶滅スルコトガ必要デアルト考ヘマスケレドモ、之ヲ其ノ爲ニ全部ヲ自由ニシテシマウト云フコトハ恩給ノ本旨ニ背クト云フコトガ第一ノ理由デアリマス、ソレカラ第二ニ之ヲ一般ノ金融業者ニ委シテ置キマシタナラバ、到底公正妥當ナル金融ノ途ヲ開クコトガ出來ナイノデアリマス、現ニ只今迄政府デ調べマシタ状況ニ依リマスト、例ヘバ恩給ニ致シマストモ、一般市中デ行ハレテ居リマス貸付ノ

利率ノ如キハ、大體年一割二分乃至一割八
分ト云フヤウナ高率デアリマシテ、其ノ外
ニ手數料ノ、是ハ場合ニ依ッテ違フノデアリ
マスガ、相當多額ニ取ッテ居リマス、其ノ甚
ダシイ例ヲ二三申上ゲマスト、是ハ宮崎ニ
行ハレタ事例デアリマスガ、借用額面二千
七百圓ノ恩給ニ對シマシテ手數料ト利息、
雜費等デ八百三十五圓控除シテ居リマス、
其ノ爲ニ手取ハ千八百六十五圓ニシカ過ギ
ナカツタト云フ例モアリマス、ソレカラ是モ
矢張リ九州ノ八幡ノ例デアリマスガ、借用
額面千六百圓ニ對シテ六百六十圓ト云フ高
率ノ手數料ヲ取クテ居リマス、ソレカラ是ハ
郡山ニ起ツタ事例デアリマスガ、明治四十三
年ニ證書ヲ寄託致シマシテ、既ニモウ三十
數年経ツテ居リマスガ、未ダニ證書ガ返ラナ
イト云フヤウナ事例モアルノデアリマシテ、
是等ニ依ッテ見マスト、民間ニ委シテ置キマ
シテモ、是ハ到底公正妥當ナル金融ガ行ハ
レナイ、矢張リ特別ノ機關ヲ設ケテ特設機
關ヲ以テヤラナケレバ十分ノコトガ出來ナ
イト云フコトデ、此ノ恩給金庫ヲ特設スル
ト云フコトニ政府ノ方針ヲ一定シタ次第デ
アリマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明ニ於テ大體ヲ了承致シマシタ、唯私ノ考ヘル所ニ依ルト、何カ既設ノ金融機關ニ此ノ擔保ノ禁止ト云コトヲ緩和シテ、其ノ恩給證書ヲ擔保ニ許スト云フコトニシテモ、既設ノ金融機關ニ於テハ是ハ立派ナ擔保物デアリマスカラ、喜ンデ金融ヲスルダラウト思ヒマス、併シ只今政府委員ノ御説明ニ依ッテ、新タニ設ケタ方ガ宜インダト云フ御意見デアリマスガ、是ハマア御意見トシテ其ノ儘拜承致シテ置クコトニ致シマス、次ニ御伺ヒ致シタイコトハ資本金問題デゴザイマスガ、ドウ云フ譯デ全額ヲ國庫ヨリ出資シナカッタノデアルカ、一部ハ民間ノ方カラ出資スルト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、是ハドウ云フ譯デゴザイマスカ

ガ宜イヂヤナイカト云フ色々根本ノ議論

ガアッタノデアリマス、其ノ中デ私共ト致

シマシテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス

ルコトハ、元來年金恩給ノ受給者ト云フ

者ガ、國家カラ非常ナ恩惠ヲ與ヘラレテ居

ルモノ、デアルト云フコトハ是ハ疑ナイト思

フノデアリマス、此ノ非常ナ國家ノ恩惠ヲ

與ヘテ居リマス特殊ノ階級ニ對シテ、更ニ

國家が非常ナ恩惠ヲ與ヘルト云フヤウナ

組織ニスルコトハ如何デアラウカ、是ハ昨

年ノ七十議會ニ於キマシテモ衆議院デモ

サウ云フヤウナ議論ガアッタノデアリマス

大分アッタノデアリマス、必ズシモサウ云フ

ケルト云フコトハ官僚獨善ダト云フ議論モ

風ニハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ一面其ノ

點ハ餘程考慮シナケレバナラナイノデアリ

マス、元來ガ恩給ヲ擔保トスル金融ト云フ

モノガ已ムヲ得ザル場合ニ行ハレルモノデ

アルト云フコトカラ考ヘマシテ、決シテ之

ヲ推賞スペキ筋合ノモノデハナイ、ソレデ

ゴザイマスカラシテ、出來得ル限リ恩給年

金受給者ノ自給自足ト云フ方法デ行ク方ガ
宜イノヂヤナイカ、平タク申シマスレバ、
ゴザイマスカラシテ、出來得ル限リ恩給年

云云コトガ恩給年金受給者トシテ自肅ト申
以上餘リ政府ニ御迷惑ヲ掛ケズニヤルト

シマスカ、ト云フ意味カラシテ必要ダト云

フコトヲ考ヘル、ソレガ一ツノ理由デアリ

マスノト、モウ一つハ恩給金庫ハ成ルベク

民間トノ接觸ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、

官僚的ニナリマセヌヤウニ、御役所仕事ニ

ナリマセヌヤウニト云フコトヲ考ヘテ居リ

マス、是ハ從來ノ金融業者等ノ關係カラ考

ヘマシテ、私共ノ一番危惧致シテ居リマス

ノハ、恩給金庫ガ出來マシテカラ後ニ、ド

ウモ恩給金庫ノ貸付其ノ他ガ官僚式デア

ル、從來ノヤウニ手輕ニ行カナイト云フヤ

ウナコトガアリマスト致シマスト、多少金

利トカ手數料トカ云フコトデナク、矢張リ

民間ニ走ツテシマフト云フコトガ事實上考

ヘラレナイコトハナイト思ヒマス、サウ云

フ點モ考ヘマシテ成ルベク之ヲ餘リ御役所

式デナイヤウニ、民間カラノ資本モ取入レ

マシテ、又評議員等ニモ民間ノソレドヘ經

験アル方々ヲ御願ヒ致シマシテ、此ノ機關

ヲ成ルベク御役所式デナイヤウニ經營致シ

タルト云フコトノ趣意ヲ此ノ内ニ幾分織込

タイト云フコトノ趣意ヲ此ノ内ニ幾分織込

ンデアルノデアリマス

○子爵裏松友光君 然ラバ資本金ノ三千萬

圓ト云フノヲ、其ノ内五百萬圓ダケ國庫ノ支

出トシテ、後ノ一千五百萬圓ハ民間ノ御出資

云フヤウニシタ何カ根據デモアルノデスカ

○政府委員(高木三郎君) 五百萬圓ト致シ

マシタ根據ニ付キマシテハ、別段是ト云フ

ハ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ、二三

ノ委員ヨリ強ク御主張ガアリマシタ、私共

モ其ノ點ヲ非常ニ憂慮致シテ居リマス、現

ニ只今迄ノ實際ノ狀況ヲ見マスト、退役ノ

將官アタリノ人ガ、其ノ恩給ヲ資本ニシテ、

少シモ收入ヲ多ク圖ラウト云フヤウナコ

トカラ致シマシテ、之ヲ擔保ニシテ會社ヲ

組織シ、ソレ等ノ事業ニ失敗シテ、遂ニ刑

事事件迄起シタト云フ實例ガアル、ソレ等

シタイト思フノデゴザイマス、此ノ度新シ

ク恩給金庫ト云フモノガ出來マシテ、サウ

シテ融通ガ自由ニナルト云フコトニナリマ

スト、例ヘバ、茲ニ最高五年迄ノ給與額ニ

當ル金額ヲ貸付スルルコトガ出來ルト云フコ

トニナツテ居リマスルト、非常ニ濫用サレル

ゴザイマセウカ

○政府委員(高木三郎君) 只今御尋ノ點

ハ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ、二三

ノ委員ヨリ強ク御主張ガアリマシタ、私共

モ其ノ點ヲ非常ニ憂慮致シテ居リマス、現

ニ只今迄ノ實際ノ狀況ヲ見マスト、退役ノ

將官アタリノ人ガ、其ノ恩給ヲ資本ニシテ、

少シモ收入ヲ多ク圖ラウト云フヤウナコ

トカラ致シマシテ、之ヲ擔保ニシテ會社ヲ

組織シ、ソレ等ノ事業ニ失敗シテ、遂ニ刑

事事件迄起シタト云フ實例ガアル、ソレ等

シタイト思フノデゴザイマス、此ノ度新シ

ク恩給金庫ト云フモノガ出來マシテ、サウ

シテ融通ガ自由ニナルト云フコトニナリマ

スト、例ヘバ、茲ニ最高五年迄ノ給與額ニ

當ル金額ヲ貸付スルルコトガ出來ルト云フコ

トニナツテ居リマスルト、非常ニ濫用サレル

シタイト考ヘテ居リマス、殊ニ金庫ハ先日

申上ゲマシタヤウニ、唯單ニ金ヲ貸スト云

費ラスルトカ云フコトノ起ラナイヤウニ致

シタイト考ヘテ居リマス、殊ニ金庫ハ先日

申上ゲマシタヤウニ、唯單ニ金ヲ貸スト云

フ機關ト云フ風ニ考ヘマセヌデ、是ガ年金、恩給受給者ノ良キ相談相手ニナルト云フ意味ニ運用致シテ行キタイト考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ヲ十分實際ノ扱ヒノ上ニ考慮致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵裏松友光君 只今ノ政府委員ノ御説明ニ依ッテ、濫用ト云フコトヲ出來ルダケ避ケヨウト云フヤウナ御話デ、極メテ妥當ナコトダト思ヒマス、成ルベク其ノ恩給金庫ニ對シテ融通ヲ受ケル者ニ付テハ、ドウ云フ風ニ金ガ使用サレルカ、用途迄モ親切ニ十分ニ注意サレ、サウシテ或ハ其ノ爲ニ濫費ヲナスト云フヤウナコトハ、出來ルダケ御注意ナヌタ方ガ宜イダラウト希望致

グラウト考へテ居リマス、併シ此ノ點ヲ若シ御出シヲ願フコトデアレバ喜ンデ御引受致シタイト思ツテ居リマス、從ツテ只今ノ所デハ資本金ニ對スル出資ノ見込ハ豫定額以上ニ達シテ居リマスノデ、或程度割當ラシナケレバナラヌカト考へテ居リマス

○男爵前田勇君 只今ノ御答デ分リマシタガ、今ノ産業組合ノ方ハ御答辯ガゴザイマセヌデシタガ、其ノ方ハ如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 産業組合モ同様デアリマシテ、是ハ大部分借入金デ融通ヲ致シテ居リマスカラ、是モ肩替リヲ致ス積リデアリマス、尤モ特ニ恩給年金擔保ノ爲ニ出来タヤウナ産業組合ガ二三アリマスノデアリマシテ、ソレ等ハ只今私共ノ手許ノ方ニ、其ノ産業組合ヲ解散シテ全部此方ニ吸收シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ申出テ居ルモノモアリマス、ソレ等ハ若シ出資致シタイト思ツテ居リマス

○男爵前田勇君 只今御話ノ肩替リ問題ガ出マシタガ、改正ノ恩給法ニハ、恩給金庫以外ノ所カラ借リマスト云フト、恩給ノ支給ヲ停止スルト云フヤウナコトニナリマシテ、ソレヲ衆議院デ三年間猶豫ヲ與ヘルヤ

ウニ修正ガ出來マシタガ、現在個人デ貸付ヲシテ居ル、或ハ今ノヤウナ後援會ナリ或ハ産業組合、信用組合等デ貸付ケラシテ居ルモノノ肩替リハドウ云フ風ニナサレルノニ依ツテ直グ支給ヲ差止メルト云フ風ニヤラレルノカ、私ハソコノ所ガドウ云フ風ニ行クノカ能ク分ラヌノデアリマスガ、殊ニアア云フ今迄擔保トシテ貸付ケテ居リマスル推定ノ金額ヲ考へマスト、二億圓以上ニナルグラウト思フノデアリマスガ、ソレガ全部肩替リヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、逆モ是ダケノ資金デハ融通ガ付クマイ、其ノ邊ノ御考ヲ一ツ承リタイ

○政府委員(高木三郎君) 肩替リノ問題ニ付キマシテハ軍人後援會方面ガ約一千萬圓デアリマス、産業組合ノ方面ガ約五百萬圓位アルカト考ヘマス、是等纏リマシタモノニ付キマシテハ比較的簡單デアリマシテ、直チニモ肩替リガ出來ルト思フノデアリマス、唯個人ノ貸付ノモノニ付キマシテハ多少餘裕ヲ置キマシタ含蓄ノアル規定ダトイカ、恩給法ノ十一條ノ二項ヘ、其ノ爲ニ實ハ私共考ヘテ居リマス、ソレハ「前項ノ規定ニ違反シタルトキハ裁定官廳ハ支給廳ニモ一度ニ肩替リヲスルト云フコトガ不可能デヤナイカ、大體カラ申シマスト一方ニテ恩給法第十一條二項ノ恩給ノ支給差止ノ

規定ヲ置キマシテ兩方面ヲ或程度ニ抑制致シマシテ、其ノ兩者ノ債權者ト受給者トノ兩方ノ互讓妥協ニ依リマシテ、債務關係ヲハ産業組合等デ委託スルコトヲ得「斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、是ハ今ノ諸官廳ナリ或ハ産業組合等ニ事務ヲ一部委託サレルノデアリマセウカ、今迄市街地デハ信用組合ナリ、或ハ農村ニ於ケル産業組合ト云フモノ

ハ、詰リ恩給ヲ擔保トシテ相當ニ金ヲ貸シ
テ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノガ今
迄差迫ッタ人ヲサウシテ救濟シテ居ル所謂
庶民金庫の仕事ヲシテ居ル、ソレヲ今度
恩給金庫が出來テ、サウシテ其ノ事務ヲ委
託サレルノデアリマスルケレドモ、恩給金
庫ノ方ノ御考トシテハ、矢張リ成ルベクナ
ラバサウ云フ事務ハ唯取次グダケニサシテ
置イテ、本當ノ事務ハ恩給金庫ノ出張所ナ
リ、サウ云フモノニヤラセルト云フヤウナ
御考ノヤウニ取ラレルノデアリマスガ、サ
ウスルト云フト非常ニ經費ガ餘計ニ要ルダ
ラウト思フ、衆議院ノ委員會ノ御答辯ニ依
リマスト云フト、初年度ノ俸給賞與アタリ
ガ約五十萬圓ト云フ風ニ計上サレテ居ルノ
デアリマス、サウ云フ澤山ノ經費ヲ掛ケラ
レマスト云フト、非常ニ今度ハ利子ガ高ク
ナル、元來モ此ノ利子ガ六分デアリマシテ、
其ノ上ニ限定スルヤウナコトヲ加ヘテ、約
三分トカノモノガ加ハッテ居ルヤウデアリ
マスガ、利子ガ高クナル、從ツテ俸給其ノ他
ノ手當ガ増シテ來ル、サウスルト云フト、
借ル者ハ折角安ク借ラウト思ッテモ借ルコ
トガ出來ナイ、成ルベクナラバ現在取扱ッテ
居ル所ノ斯ウ云フ地方ノ機關ヲシテ取扱ハ
サレタ方ガ經費ガ安ク上リ、サウシテ利子

ヲ安ク引下ゲテ、其ノ恩典ニ浴セシムルコ
トガ出來ハシナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘ
ルノデアリマス、其ノ邊ノ御所見ヲ一ツ伺
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御尋ノ點
ハ御尤デゴザイマシテ、金庫ノ性質カラ考
ヘマシテモ、出來得ル限リ事務費ヲ節約致
シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯金庫
ノ本質ガ先程申上ゲマシタヤウニ、唯單ニ
金ヲ貸スト云フコトダケデアリマセヌノ
デ、出來得レバ受給者ノ福利増進其ノ他ノ
事務ヲモヤッテ行キタイト云フ關係上、理想
カラ申シマスレバ、恩給金庫ガ自分ノ手足
ヲ持ツト云フコトガ一番理想デアルト云フ
風ニ考ヘルノデアリマス、併シナガラ是モ
經費ノ關係ガアリマスノデ、僻諱ノ地迄モ
自分ノ手ヲ持ツト云フヤウナコトハ到底不
可能デアリマス、是ハ矢張リ或一ツノ機
会考ヘテ居リマス、然ラバドウ云フ機關
機關ノ數モ乏シイ、又遠方ニ居リマス者ハ
一々市街地迄出テ來ルト云フコトハ、大變
旅費ヲ使ハセル、サウ云フ非常ニ不便ガア
ルダラウト思フノデアリマス、元來此ノ恩
給金庫ハ借手ノ便宜ヲ御計リニナルト云フ
コトガ趣意ダラウト思フノデアリマス、詰
リ便利ニ貸シテヤル、利子ヲ安クシテヤル、
レヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高木三郎君) 利子ハ成ルベク
安ク致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスル
ガ、唯先程モ申上ゲマシタヤウニ此ノ金庫
ガ成ルベク自給自足デ行キタイト云フ關係
上、事務費等モ政府ノ補助ヲ俟ツノデアリ
マセヌデ、其ノ中カラ出シテ行クト云フコ
トニ付キマシテハ十分ノ研究ヲ致シマシテ、
經費モ少ク、又恩給金庫ノ本來ノ目的ヲモ
達シ得ルヤウナ機關ヲ利用シテ行キタイト
云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵前田勇君 只今ノ御話デ大體ノ了解
ヲ得マシタノデゴザイマスガ、斯ウ云フ金
ヲ借リマス者ハ、急場ノ爲ニ金ヲ借ルト云
フ場合ガ多イダラト思フノデアリマス、ソ
レデアリマスカラ市街地ニ居リマス者ハ其
ノ他ノ色々ナ金融機關ガアリマスケレド
モ、地方農村ニ居リマス者ハサウ云フ金融
機關ノ數モ乏シイ、又遠方ニ居リマス者ハ
一々市街地迄出テ來ルト云フコトハ、大變
機關ヲ御利用ニナシテ、サウシテ借リル者ノ
ス、ソレデアリマスカラ成ルベクサウ云フ
機關ヲ御利用ニナシテ、サウシテ借リル者ノ
便利ヲ計ルト云フコトヲ私ハ希望シタイノ
デアリマス、唯此ノ利子ノ六分ト云フ計算
ハ、何所カラ出タモノデアリマセウカ、ソ
レヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高木三郎君) 利子ハ成ルベク
安ク致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスル
ガ、唯先程モ申上ゲマシタヤウニ此ノ金庫
ガ成ルベク自給自足デ行キタイト云フ關係
上、事務費等モ政府ノ補助ヲ俟ツノデアリ
マセヌデ、其ノ中カラ出シテ行クト云フコ
トニ付キマシテハ十分ノ研究ヲ致シマシテ、
經費モ少ク、又恩給金庫ノ本來ノ目的ヲモ
達シ得ルヤウナ機關ヲ利用シテ行キタイト
云フ風ニ考ヘテ居リマス

トニナッテ居リマス、結局資本金ヲ運用スル
ニ止メマシテ、其ノ他ハ借入金、恩給債券
等ニ依ル資金ヲ運用致シテ行キタイト考へ
マスノデ、結局資金「コスト」ノ關係デ利率
ガ定ツテ行クト云フ風ニ考ヘラレルノデア
リマス、サウ致シマスト現在ノ資金「コス
ト」ノ關係カラ事務費等ヲ考慮致シマスレ
バ、先ヅ五分五厘乃至六分ト云フ所ニ落付
クダラウト考ヘマス、唯金庫ト致シマシテ
ハ創立ノ當初カラ餘リ香餌ヲ連ネテ、アト
カラ利率ガ高クナルト云フヤウナコトハ成
ルベク致シタクナイ、法ノ設立要綱等モ、
可ナリ餘裕ノアル設立要綱デアリマシテ、
金融方面ノ御経験ノ深イ方カラ御覽ヲ願ヒ
ルカモ分ラヌト思フノデアリマスガ、實ハ
出來得ル限リノ安全率ヲ見テ居リマス、從ツ
テ經費ノ方ニ付キマシテモ、又收入ノ方ニ
付キマシテモ、マダ實際ノ運用ノ上ニ於テ
ハ考慮スル餘地ガ十分アルト考ヘマス、ソレ
等ハ設立委員ガ任命セラレマシテ、設立委
員ニ於テ具體的ノ案ヲ練リマシテ、此ノ設
立委員ニハソレドヽ専門ノ方モ御願致シ

マシテ、適當ナ案ヲ立テ行キタイ、唯私共ノ此處ニ出シマシタノハ、安全率ヲ見マシタ金庫ガ、此ノ程度デ經營シ得ルト云フテ、出來得レバ是以下ノ利率ヲ引下ゲタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵前田勇君 御趣旨ハ能ク分リマシタガ、成ルベク將來ニ向シテ利子ノ引下、ソレカラ借リル者ノ便利ト云フコトヲ御考ヲ願ッテ、恩給金庫ノ將來ノ使命ヲ果サレルヤウニ私ハ希望シテ、一時此ノ質問ヲ中止致シマス

○内田重成君 衆議院ノ速記録ヲ拜見シテ見マスト、非常ニ詳シク質問應答ガ數回ニ亘ツテ重ネラレテ居リマシテ、ソレニ依ツテ大體了承致シマシタ、私ハ此ノ法案竝ニ恩給改正法案ニ付テノ根本トナリマス觀念ヲ自分ニ於テ定メタイト云フ考ヘラ持チマスル、速記録ヲ拜見シテ稍、政府ノ恩給ノ性質ノ根本問題ニ付テノ御考ガ窺ハレルヤウニモ考ヘマスルケレドモ、ドウモマダ明瞭致シテ居リマセヌ、平常恩給局ニ於テハ十二分ニ此ノ恩給ノ性質ガ如何ナルモノデアルカト云フコトニ付テハ御研究ニ相成ツテ居ルコトデアルト考ヘルノデアリマス、是迄ノ學說ヲ見マスルト、是ハ數年前今ノ恩給

アリマスルガ、ソレヲ僅カニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、此ノ恩給ハ官吏其ノ他國家ノ公務員ノ退官退職後又ハ是等ノ者ノ遺族ノ生活保證ノ條件履行說、ソレカラ公務員ノ經済能力喪失ニ對スル賠償說、次ニ官吏ノ俸給權ハ其ノ本質ニ於テ官吏ノ勤務ニ對スル反對給付、又ハ職務執行ニ對スル保證デナク、官吏ノ地位ニ相當スル生活費ノ保證デアルト云フ說ノ延長トシテ恩給ノ性質モ退官退職後ノ官吏又ハ家族ノ生活保證ノ繼續デアルト云フ說、ソレカラ次ニ公務員ガ在職中國家ノ爲ニ盡力貢獻シタル所ノ報酬トシテ、賞典トシテ是ハ給與スルモノデアルト云フ說、即チ賞與說、又國家ガ退職退官ノ公務員又ハ其ノ遺族ニ對シ國家ガ憐憫ノ情ヲ以テ給與スル施設デアルト云フ說、斯クノ如キ其ノ各種ノ恩給ノ性質ノ基本觀念ニ於テノ說ガアルコトヲ記憶致シテ居リマス、此ノ根本觀念ダケハシカトノ把握シテ置クコトヲ要スルヤウニ考へルノデアリマス、政府ノ衆議院ニ於ケル說明ニ依リマスルト、是ハ國家ニ功績ノアッタ者ニ對シテ終身生活ノ保持ニ對シテノ保證ヲ爲スト云フヤウナ爲ニ與フル所ノ權利アルト云フ說ノ如クモ見エルシ、又是ハ

明治天皇陛下ノ深キ思召ニ依テ成立ツタ所
ソコノ根本觀念ハドウ云フ風ニモ取レマス、
テ居ルカ、私ハ其ノ觀念ニ依テ色々此ノ法
案ノ上ニ於キマシテモ、考ヲ異ニセナケレ
バナラヌ點ガアルヤウニ感ズルノデアリマ
ス、先づ其ノ點ヲ政府ノ御考ニナッテ居リマ
スル恩給精神ト云フモノハ、ドウ云フ點ニ
其ノ觀點ヲ置クコトガ一番合理的デアリ、
又至當デアルカト云フコトヲ承リタイト思
ヒマス

利トシテ見テ行クベキモノデハナカヌウカ
ト存ジマス

○内田重成君 只今私ガ御尋ヲ致シマシタ
ノハ第二條ノ修正、恩給法第二條ノ修正ニ
モ關聯スルノデアリマス、又此ノ恩給金庫
施行ノ上ニ付テモ之ガ精神的ニ關聯ヲ致スモ
ノデアリマス、此ノ點ヲハッキリシテ置キタ
イト云フ考デアルノデアリマス、是迄衆議
院ニ於ケル説明ニ於テモ、只今恩給局長ノ御
説明ニ依ルト、明治天皇陛下ノ深キ思召
ヲ體シテ、此ノ恩給制度ガ出來タノデアリ
思召ニ背クノデアッテ不都合デアル、ト云
フヤウナ御説明ガ屢々相成ッテ居ルノデアリ
マス、私未ダ 明治天皇陛下ノ深キ思召
ヲ體シテ此ノ法制ノ起源ガ始シタノデアル
ト云フコトニ付キマシテノ沿革ハ承知致シ
マセヌ、ソレヲモ併セテ相當機會ニ於テ其
ノ沿革ヲ御話ヲ願ビタイト考ヘマスル、若
シ、斯クノ如キ御説明デアリマスルト云フ
ト、明治天皇陛下ノ深キ御情ケニ依ツテ此
ノ恩給制度ガ出來タモノデアルト云フ、ソ
ヨニ非常ニ力ガ入シテ御説明ニ相成ッテ居ル
ノデアリマス、然ラバ、其ノ御恩ニ背イテ
受恩給者ガ之ヲ抵當ニシテ、一時タリトモ
其ノ權利ノ有難キ證書ヲ他人ノ手ニ渡スト

云フコトハ、我々ノ觀念カラ致シマシテハ、
非常ニ不敬ナコトデアルト感ズルノデアリ
マス、是ガ、此ノ議院ニ於ケル御説明等ニ
依リマスレバ、全ク國家ノ恩惠デアルト云
ト、明治天皇陛下ノ深キ思召ニ背ク行爲デ
アルカラト致シマスレバ、二條ノ如キ改正、
從ツテ恩給金庫法ト云フヤウナ法律ハ、今後
ニ於テ、是ハイケヌモノデアル、作ルベカ
ラザルモノデアルト云フ議論ニハナリヤス
マイカト云フコトヲ私ハ感ズルノデアリマ
ス、若シ現在ノ時弊、受恩給者ガ之ヲ抵當
ニ入レテ、サウシテ受恩給者自身ガ非常ニ
苦シムト云フコトノ現在ノ時弊ヲ匡救スル
必要ガアルト云フコトデアルナルバ、ソレ
ハ尙他ノ嚴重ナ制裁法規等ヲ用フルトカ云
フコトデ、極力其ノ方面デ之ヲ防止スルト
云フ方法ガアリサウナモノデアルト云フヤ
ウナコトニ感ゼラレルノデアリマス、私ハ
點ニ付テ一應御意見ヲ承ツテカラ、更ニ私ハ
御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(船田中君) 衆議院ノ本會議及
衆議院ノ本法案ニ付テノ委員會ニ於キマシ
テ、只今内田サンノ御指摘ニナリマシタヤ

或ハ反対給付説デアルトカ、或ハ賞典ニ當
タルモノデアルトカ、恩惠説デアルトカ、
色々法理上ノ御議論ハ出テ來ルト存ジマス
ガ、政府トシテハ、ソレニ對シテハッキリ斯
ウダト云フ、ドノ學説ガ正シイカト云フコ
トニ付テノ斷定ヲ下スコトハ困難ト存ジマ
ス、併シ恩給法ノ第一條ニ所謂恩給ヲ受ケ
ノ有難イ思召ガ源ヲナシテ居ルノダ、從ツテ
之ヲ擔保ニ供スルト云フヤウナコトハ、一
體臣下トシテヤルベキコトデハナシ、又ソ
レヲ公然法律ヲ以テ認ムルト云フコトハ怪
シカラヌコトデアルト云フヤウナ御非難モ
アッタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、
先程恩給ノ性質ニ付テ私カラ一應申上ゲマ
シタヤウニ、ハッキリシタ沿革ガ今日公文書ニ
残ツテルト云フコトハ申シ兼ネマスケレド
モ、明治天皇ノ有難イ思召ヲ體シテ、恩給
制度ト云フモノガ制定セレタト云フコトノ
ガラ最初ノ恩給ニ對スル政府ノ觀念ガ、恩
給ト云フヤウナコトニナリマシタニ致シマ
シテモ、其ノ後諸制度ノ變遷、殊ニ法律思
想ノ變轉ニ從ヒマシテ、恩惠ト云フ觀念カ
ラ、今日ニ於テハ權利ノ觀念ニ轉化シテ來テ
居ルト云フコトハ是亦事實トシテ認メザルヲ
得ナイノデ、從ツテ恩給ノ法理上ノ性質ヲ有
シテ、而モ其ノ恩給擔保ノ金融ニ付キマシ
融ト云フモノガ可ナリ廣く行ハレテ居リマ
シテ、而モ其ノ恩給擔保ノ金融ニ付キマシ
シテハ、先程恩給局長ガ二三ノ實例ヲ以テ御
説明申上ゲマシタガ如クニ、極メテ弊害ガ

多イノデアリマス、借り手ノ方ニ惡質ノ者モアリマシテ、可ナリ恩給擔保ノ金融ト云フモノガ濫用セラレル弊害ガ多イノデアリマスカラ、其ノ社會ノ實際ノ實情ヲ見マシタ場合ニ於テハ、何トカシテ此ノ恩給擔保ノ金融ト云フコトヲ合理的ニ、妥當ニ、公正ニ導イテ行クト云フコトガ必要デアリ、又政府ノ施設トシテ之ヲ考ヘテ行クコトガ當然デアラウト云フヤウナ思想カラ致シマシテ、此ノ恩給金庫法制定ノ動機ガ起ツテ來タ次第デアリマス、其ノ社會ノ實情ト云フコトニ付キマシテハ、昭和八年ノ恩給法改正ノ場合ニ於キマシテ、衆議院ニ於キマシテハ強キ希望力アリマシタ、此ノ社會ノ實情ニ即シテ何トカ合理的ナ方法ヲ立テテ、サウシテ恩給擔保ノ金融カラ生ズル幾多ノ弊害ヲ除去スルコトニ政府モ努ムベキデアル、斯ウ云フヤウナ御希望ガアリマシテ、其ノ趣旨ヲ採入レマシテ、今回恩給金庫法案ト云フモノヲ政府ガ立案スルコトニ至リマシタ、是ハドコ迄モ此ノ恩給擔保金融ノ合理化ヲ圖リ、弊害ヲ除去スルト云フ制度ト實際トノ調和點ヲ何處ニ見出スカト云フ所カラ考へ出サレタ結論デアリマシテ、恩給金庫法案ヲ制定スルト云フコトガ、此ノ恩給法ノ根本ヲ

○内田重成君 御趣旨ハ分リマスルガ、此ノ法案審議ニ際シテ 明治天皇ノ有難キ思召ニ胚胎シテ恩給制度ガ出來タモノデアルト云フ始終御話ガアリマスルガ、總テ日本ノ法制ノ大部分ト云フモノハ起源ハ 明治天皇ノ何レモ深キ有難キ思召ニ胚胎シテ居ルノデアリマス、單リ恩給制度バカリデハナリ、之ニ向ツテ始終御答辯ガ恩給擔保ハ其ノモノデアルト云フ風ノ御説明ガアルヤウデアリマスケレドモ、斯様ナ、殊ニ始終 明治天皇ノ深キ思召ヲ體スルト云フヤウナコトヲ、是ハ御説明ニナラナケレバナラヌモノデゴザイマスカ、サウ云フ一體、始終 明治天皇ガ出テ居リマスルガ、是ハ必要ナ御説明ニナリマスルノデスカ、チヨット私ハ、ソコデ非常ニ斯ウ云フ御説明ガアルト、必ズ斯ウ云フ云フ金庫ガ出來テモ、ソコニ恩給證書ヲ持テ來テ、是デ融通ヲ願ヒマスト云フコトハアルカラ、サウ云フ人々ハ又殊ニ忠誠ノ念ニ燃エテ居ル人バカリデアッテ、サウ云フ人々ガ斯クノ如キ觀念ヲ有セラル、役所的ノ此ノ金庫ニ向ツテ擔保ヲ提供シテ融通ヲ願

張リ從來ノ通リノ少々利率ガ高イ位ノコトハ之ヲ忍シテ、其ノ中ニハドウニカシヨウト云フノデ、一般ノ金融業者ニ矢張リ脫法的ノ金融ヲ賴ムト云フコトニ相成ルノヂヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデ、ソレデ此ノ點ヲ私ハヤカマシク申上ゲルノデ、始終明治天皇ト云フヤウナ御言葉ガ出テ居ル、ソレガ將來矢張リ此ノ受給者ノ金庫利用ノ觀念ニ影響シテ來ルノヂヤナイカト云フコトヲ考ヘルカラ此ノコトヲ申スノデアリマス、是ハ何デゴザイマスカ、非常ニサウ明確ナ何カ履歴ガアルノデゴザイマスカ、サウ必ズ明確ナモノト云フヤウナ記錄等ガアッテ、特殊ナ思召カラスウ云フモノヲ作ツテヤレト云フヤウナコトヲ仰セラレタトカ何トカト云フヤウナコトデモ記錄デモアルノデゴザイマスカ

此ノ 明治天皇ノ恩召ニ反スルノデハナイカ、極端ニ言ヘバ 一種ノ不忠ヲ制度上ニ於テ認メルト云フヤウナ結果ニモナルノデハナイカト云フヤウナ點ヲ、可ナリ強ク主張セラレマシテ、サウシテ此ノ恩給金庫法案制定ニ對シテ反對的ノ意味ニ於ケル御質問ガアツタノデアリマス、從ッテソレニ對シテ私ガ答辯ヲ致シマシタノデ、其ノ答辯ヲ申上ゲマシタ趣旨ハ沿革的ニ申セバ 左様ナコトモアツタデアリマセウ、又受恩給者ノ心構トシテハ、サウ云フヤウナ氣持デ此ノ恩給權ト云フモノヲ濫用スペキモノデハナイ、即チ道徳的ノ方面カラ見マスレバ之ヲ濫用スペキモノデハナイト云フコトヲ申シマシタノデアリマシテ、殊更ソレヲ振廻シテ此ノ恩給擔保ノ金融ト云フコトハイケナイノダト云フヤウナ意味ニ申シタノデハゴザイマセヌカラ、其ノ點ノ誤解ヲ御釋キ下サルコトヲ切ニ御願ヒ致シマス、從ッテ少クトモ恩給法ニ所謂恩給ヲ受クルノ權利ハ、一般ノ法律上ニ所謂權利デアリマシテソコニ法律思想ノ上ニ於テ、何等特殊ノ觀念ヲ持ッテ居ルモノデハナインデアリマス、又從ッテ恩給金庫ト云フヤウナモノガ出來マシテ、其ノ運營ヲヤツテ行キマス場合ニ於キマシテハ、先程恩給局長カラ詳細御説明申上ゲマシタヤ

ウニ、所謂官僚式ノ經營デハナクシテ、受
恩給者ノ良キ相談相手ト云フ積リデ、金融
モシ又健康相談其ノ他ノ福利施設モ段々ヤッ
テ行キタイト云フヤウナ考ヲ持シテ居リマ
ス、決シテ官僚式ニ經營シヨウト云フヤウ
ナ考ヲ持シテ居ル者デハ毛頭ゴザイマセヌ
ゲテ恐縮デゴザイマスガ、只一箇所ヤ二箇
所デナイノデ、一ツ一例ヲ申シマスルトニ
月二十六日ノ第七回ノ委員會速記錄デ、高
木政府委員ノ御説明ノ中ニ「恩給ニシマシ
テモ年金ニ致シマシテハ、其ノ制定ノ當初
ニ於キマシテハ、明治天皇陛下ノ深キ恩
召ヲ體シマシテ、此ノ制度ガ出來上ガッタノデ
アリマス、從ツテ折角是等ノ國家ノ恩惠ヲ擔保
ニ入レマシテ、ソレガ爲ニ生計ガ苦シクナリ、
或ハ甚ダシキニ至ツテハ、ソレガ爲ニ犯罪ヲ
構成スルト云フヤウナコトガアリマスコトハ、
年金恩給受給者ノ品位ノ上カラ考ヘマシテ
モ望マシキコトデハナイノデアリマス、仍
テ恩給法ニ於キマシテハ、年金恩給ノ擔保
禁止ノ規定ヲ置イテ居リマスガ、此ノ禁止
ノ規定ノ有無ニ拘ラズ、理論上カラモ、禁
止ヲサルベキモノデアリマシテ、一身專屬
ノ権利デアリマス、禁止ノ規定ガ有ル無シ
ニ拘ラズ、之ヲ擔保ニ供スルコトハ出來ナ

イ譯デアリマス、サウ云フ意味カラ申セバ、恩給法ニ於テ、擔保禁止ノ規定ヲ置クト云フコトハ謂ハバ注意的規定トモ解釋スベキモノト考ヘテ居リマス」斯ウ云フ御答ガアリマス、ソレデ斯ウ云フ風ニ御考ニ相成ツテ居ルト、恩給金庫法ノ折角ノ目的ハ矢張リ達成ガムヅカシクハナイカ、先程申上ゲマシタヤウニ、苟モ 明治天皇陛下ヲ考ヘ、其ノ御恩ヲ感ズル國民ガ、矢張リ背ニ腹ハ代ヘラレヌト云フノデ、内證ノ融通ヲスルト云フコトニナリハセヌカト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、併シ是ハサウ餘リ頭ニ置イテ考ヘヌデモ、既ニ恩給法ト云フ法律ニ依ツテ是ガ法律化セラレタ今日ニ於テハ、之ヲ一ツノ權利ト見ルト云フヤウナ法的觀念ノ下ニ於テ、只今迄ノ此ノ御説明ヲ深ク考ヘスデモ宜イト云フコトデアリマスレバ、私ハ強ヒテ其ノ點ニ付テ彼此申上ゲルノデモアリマセスケレドモ、非常ナ誤解ヲ起スノデヤナイカト云フ老婆心カラ申上ゲタノデアリマス、デモウ一ツ序デニ伺ヒマスガ、此ノ恩給權ハ權利者ノ一身ニ専屬スル權利デアル、所謂一身専屬ノ權利デアル、サウシテ而モ是ハ公權デアルト云フ政府ノ御考ノヤウデアリマス、デ一身専屬ノ權利デアルガ、恩給金庫ニ持ツテ來ルコ

トハ是ハ差支ナイ、恩給金庫ガ之ヲ承繼ス
律デ決メル、法律デ決メルコトデアルカラ、
何デモ書ケルノダ、斯ウ云フコトヲマア御意向デ
アラウトハ感ズルノデアリマス、サウ云フ
點カラ致シマシタ場合ニ、此ノ恩給金庫法
ハ出資者ニ對シテ配當迄スルト云フコトデ、
一ツノ營業デアリマス、此ノ營業ノ建前カ
ラ致シマシテ受恩給者ニ對シテ擔保ヲ提供
サシテ融通ヲスルト云フ、金錢融通ヲスル
ト云フコトハ是ハ獎勵、金ノ借入ヲ獎勵ス
ルト云フ風ノ自然建前ニナルノデヤナイカ
ト感ズルノデアリマスルガ、又相當借手ガ
ナケレバ、先程前田男爵カラ御話ニナッタヤ
ウニ人件費ダケデ五十萬圓ト云フ大キナ人
件費ヲ使ウテ、此ノ金庫ガ成立ツ譯ニナル、
デサウ云フモノノ外ニ相當配當ヲ要スル收
益ノ關係カラ、其ノ恩給擔保ヲ獎勵スルヤ
ウナ傾ニ自ラナルノデハナイカ、ト云フノハ
人情トシテ開店休業ト云フコトハ、其ノ職
務ニ携ル人間ハ仕事ト云フ觀念ノ上カラシ
テ淋シイヤウナ氣持モスルノデ、店ニオ客
様ノ來ルノヲ歡迎スルト云フ傾ニナル、從ツ
テ此ノ受恩給者ノ金ヲ借リルコトヲ獎勵ス
ルト云フ寧ロ傾ニナルデハナイカト云フコ
トヲ私ハ恐レル、御承知ノ通リニ受恩給者

ガ受恩給ノ最初ニ於テシクジルノハ、皆金ヲ借リテ、數年間ノ生活費ノ大部分ヲ一纏メノ金ニシテ、ソレヲ以テ事業資金ニシテ、一時は迄取ツテ居ツタ所ノ給料俸給等ニ大方相當スル位ノ收入ガ得タイガ爲ニ、纏ツタ金ヲ手ニシテ、サウシテソレヲ資本ニシテ或會社事業ニ關係スルトカ、獨立營業ヲスルトカ云フヤウナ仕事ヲ始メタイ爲ニ、之ヲ借リル者ガ相當ニアル併シソレガ大部分誤リデアリマシテ、大部分ガ皆ソレデシクジツテ窮境ニ陥ル者ガ多數デアル、斯ウ云フ金融庫ガ出來マスレバ、サウシテ此ノ金庫ハ必ズシモサウ云フ融通ヲ願ヒニ來タ者ヲ排斥セズシテ、歡迎スルト云フ傾ニ居リマスル以上ハ、此處ニ參レバ堂々トシテ法律上有效ナル借金ガ出來ルコトニナリマスノデ、サウ云フ風ノ是迄ノ受恩給者ガ最初ニ皆シクジル、又ハ以後ニ於テ事業資金ニ非ズシテ生活上ノ必要ノ爲ニ借金ヲスル其ノ仲立ヲシテ、生活上ノ必要カラ致シマシタ借金ハ容易ニ是ハ返セルモノデハナイ、生産事業ニ投資シタモノ以外ノモノハ殆ド返ストガ出來ナイ、是ハアノ負債整理其ノ他ノデアリマスケレドモ、大キナ眼カラ見ルトラスクノ如キ便法ハ非常ニ助ケニナルヤウ

云フト、受恩給者ノ全體ニ對シテ必ズシモ
是ハ恩惠トハ言ハレナイ、デ私ハ此ノ受恩
給者ガ此ノ恩給ヲ擔保ニシテ金ヲ、一纏リ
ノ金ヲ手ニシテ、ソレガ爲ニ非常ニ困ル境
涯ニ陥ル者ノ多イト云フ實情モ知ッテ居リ
マスガ、ソレハ必ズシモ高利貸ニ虐メラレ
タ者ダケヂヤナインデ、此ノ方ハ寧ロ少イ
ノデヤナイカ知ラヌト云フ位ナ感ジヲ持
ツノデアリマスガ、是ハ別ノコトト致シ
マシテ、斯ウ云フ金庫ヲ御作ニナリマシ
テ、若シ此處ニ窓口ニ借金ノ相談ニ參ッタ
者ガアリマシタ場合ニ、其ノ資格ヲ御調ニ
ナルコトハ勿論デアリマスルガ、其ノ借金
ノ理由ヲ聞質シテ、ソレニ依ッテ金ノ貸與ヲ
スルトカ、貸與セヌトカ、理由ノ如何ニ依ッ
テ金ヲ貸スカ、貸サヌノ區分ヲ爲サル、ヤ
ウナ御考モアリマスカラシテ、サウ云フ方
針ト云フモノヲ是ハ一ツハッキリシテ置イ
テ戴キタイ、假令窓口ヘ來テ金ヲ貸シテ
吳レト云フ者ガアッテモ、ソレガ若シ已ムヲ
得ザル借金ニ非ズンバ、是ハ假令他ノ條件
ニ矢陥ガナクトモ貸サヌノデアル、拒絶ス
ルノデアルト云フヤウナ法定條件以外ニ事
實上ノ條件ヲドノ程度ニ於テ酌酌スルカ、
又ハ酌酌セザルカ、是ガ最モ私ハ大切デア
ルト思フ、若シ何トデモ言ウテ來レバ、オ

イソレト言ウテ金融業者ガ利息ヲ取ル目的
デオ客サン扱ニシテソレ等ノ金ヲ貸出スト
云フヤウナコトニナリマスト、後ノコトハ
考ヘヌデ、今目前ノ急場ヲ凌グ爲ニ、若シ
クハ目前ノ急場デナクテモ贅澤ニシテ
シマフト云フヤウナ人間ガ相當ニアル
ダラウト思フ、私ハ先ニ此ノ恩給ノ性質ヲ
頻リニ御話ヲ願ツタ譯ト云フノハ、要ス
ルニ此ノ恩給ト云フモノハ、單リ受恩給者
ノ個人バカリノ問題デナク、家族ノ共同權
デアル、家族モ之ニ依テ生活シテ行ク者
ガ大部分デアル、家族ノ共同權ト云フ
コトヲ是ハ認ヌナケレバナラヌト思フ、デ
アルカラシテ親父一人ガ其ノ金ヲ借リテ浪
費スルト云フト、後ノ家族ハ此ノ爲ニ路頭
ニ迷フト云フコトモアリ得ル、是ハ金庫法
營業開始後斯ウ云フ窓口ニ參ツタ者ニ對シテ
御取扱ハドウ云フ程度迄御許シニナルノカ、
欠缺條件ノナイ者ニ對シテハ全部御許シニ
ナルト云フ御趣意デアルカ、又ハ其ノ必要
ノ有無ヲモ審査シテ、之ヲ許ス許サヌノ區
分ヲ爲サレルノカ其ノ點ヲ一つ伺ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(船田中君) 只今内田サンノ御
質問、誠ニ御尤デゴザイマシテ、其ノ點ハ
分ヲ爲サレルノカ其ノ點ヲ一つ伺ヒタイト
思ヒマス

又衆議院ノ委員會ニ於テモ質問ノ主ナル點
トシテ可ナリ詳細論議ヲ盡サレタ所デアリ
マスガ、今御指摘ニナリマシタヤウニ此ノ
恩給金庫ガ出來マシテ、ソレガ餘リニモ營
業的ニ、營利的ニ活動スルト云フコトニナ
リマスレバ、受恩給者ノ借金ヲ獎勵スルト
云フヤウナ結果ニモナラウト存ジマス、此
ノ點ハ今回恩給金庫ヲ創設スルニ當リマシ
テハ、最モ政府トシテ注意ヲ致シ慎マナケ
レバナラヌ點ト考ヘテ居ルノデゴザイマシ
テ、恩給金庫ヲ設立致シマシタガ爲ニ借金
獎勵ノ結果ニナリ、サウシテ而モ其ノ影響
スル所受恩給者バカリデナクシテ、受恩給
者ノ家族一般ナ非常ナ不幸ナル結果ヲ持來
ラスト云フヤウナコトニ萬ガ一デモナリマ
シタナラバ、是ハ全ク恩給金庫ノ趣旨ニモ
副ハヌ所デアリマシテ、其ノ點ハ十分政府
トシテ注意致シテ參リタイ、又慎シデ行カ
ナケレバナラヌ點ト考ヘテ居リマス、先程
チヨット配當ノ問題ニ付テモ御話ガゴザイ
マシタガ、是ハ先程恩給局長カラ御説明申
上ゲマシタガ如クニ、資本金ガ三千萬圓デ
アリマスガ、最初ニ拂込ミマスノガ六百萬
圓、サウンシテ其ノ中百萬圓ダケヲ政府ガ出
資ヲスル、私共ハ宮内省ナリ或ハ大部分ハ
恩給局長カラ一應御説明申上ゲマシタシ、
トシテ可ナリ詳細論議ヲ盡サレタ所デアリ
マスガ、今御指摘ニナリマシタヤウニ此ノ
恩給金庫ガ出來マシテ、ソレガ餘リニモ營
業的ニ、營利的ニ活動スルト云フコトニナ
リマスレバ、受恩給者ノ借金ヲ獎勵スルト
云フヤウナ結果ニモナラウト存ジマス、此
ノ點ハ今回恩給金庫ヲ創設スルニ當リマシ
テハ、最モ政府トシテ注意ヲ致シ慎マナケ
レバナラヌ點ト考ヘテ居ルノデゴザイマシ
テ、恩給金庫ヲ設立致シマシタガ爲ニ借金
獎勵ノ結果ニナリ、サウシテ而モ其ノ影響
スル所受恩給者バカリデナクシテ、受恩給
者ノ家族一般ナ非常ナ不幸ナル結果ヲ持來
ラスト云フヤウナコトニ萬ガ一デモナリマ
シタナラバ、是ハ全ク恩給金庫ノ趣旨ニモ
副ハヌ所デアリマシテ、其ノ點ハ十分政府
トシテ注意致シテ參リタイ、又慎シデ行カ
ナケレバナラヌ點ト考ヘテ居リマス、先程
チヨット配當ノ問題ニ付テモ御話ガゴザイ
マシタガ、是ハ先程恩給局長カラ御説明申
上ゲマシタガ如クニ、資本金ガ三千萬圓デ
アリマスガ、最初ニ拂込ミマスノガ六百萬
圓、サウンシテ其ノ中百萬圓ダケヲ政府ガ出
資ヲスル、私共ハ宮内省ナリ或ハ大部分ハ
資ヲスル、私共ハ宮内省ナリ或ハ大部分ハ

官業共濟組合ノ出資ヲ大體當ニシテ居リ
マヌシ、又大體ニ當ニシ得ルヤウナ狀態
ニナツテ居ル譯デアリマス、サウシテ此ノ
金額ニ依ツテ恩給金庫ノ基礎ヲ確立シテサ
ウシテ貸付資金ハ主トシテ恩給債券ノ發行
ニ依リマシテ、即チ拂込金ノ十五倍迄假ニ
恩給債券ヲ發行スルコトガ出來マスルカラ、
其ノ恩給債券發行ニ依ツテ得タ資金ヲ貸付
資金ト致シマシテ、サウシテ實際ノ貸付ヲ
ヤツテ行キタイ、サウ云フヤウナ計畫デア
リマスルノデ、徒ニ多額ノ配當ヲスルト云
フヤウナコトハナカラウカト存ジマス、又
サウ云フコトニナラヌヤウニ注意ヲシテ參
ラナケレバナラヌト存ジマス、サウシテ此
ノ恩給金庫ノ創設致シマスル趣旨ガ屢々申上
ゲマスル通リニ受恩給者ノ良キ相談相手ニ
ナル、從ツテ恩給金庫全體ト致シマシテハ
營利ヲ目的トスルモノデハナイ、從ツテ所謂
公益法人デハアリマセヌケレドモ、公益的
ノ特殊ノ法人トシテ存在スル譯デアリマス
カラ、徒ニ營利追求ト云フコトニナラヌヤ
ウニ其ノ經營、運營ノ宜シキヲ得テ行カナ
ケレバナラヌト存ジテ居リマス、又貸付ヲ
致シマスル場合ニ於キマシテモ、金庫ノ窓
口ニ申込ヲ致シタ者ニ對シテ形式的ノ審査

サウ云フヤウナコトヲ致シマセヌデ、貸付形式的ノ審査ト同時ニ、事實上ノ條件ヲ備ヘテ居ルカドウカ、實際資金ノ必要ガアルマシテ、貸付ヲ決定シテ行クヤウニ致シタイ、サウ云フ政府ノ方針ニ依リマシテ、運用上濫ニ流レルコトノナイヤウニ十分注意シテ參ル積リデ居リマス

○委員長(三井清一郎君) 私ハ委員トシテ、今内田君ノ質疑ニ關聯シテヨット御伺シタイノニアリマス、只今内田委員ノ貸付條件ノ十分ナ調査ニ付テノ質疑ニ對シマシテ、法制局長官カラ成ルベク實際的ノ調査ヲスルト云フ御答ガアリマシタガ、私モ過去十四五年此ノ恩給證書ヲ委任ヲ受ケルツノ團體^{團體}其ノ仕事ヲシタ實驗カラ考ヘマスト、今回ハ、恩給法第十一條ノ第一項ヲ御改正ニナッテ、權利ヲ讓渡シ擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フコトガ明カニナッテ、恩給金庫ニ擔保ニ供スル以外ハ出來ナイ、之ニ違反シタル者ハ裁定官廳ハ支給廳ニ通知シ恩給ノ支給ヲ差止ム、斯ウ書イテアリマスガ、現行ノ恩給法ニ於テモ擔保ニ供スルコトガ出来ヌコトハ明カデアル、之ガ爲ニ恩給證書

書ノ再交付等ハ餘程能ク調査ニナラヌト交
付ニナツテ居ナイノデアリマス、ソコデ今ノ
ヤウニ窓口ヘ來ルノハ切羽詰ルカラ來ル、
我々ノ經驗ニ依ルト、モウ明日ハ食フコト
ガ出來ナイ、モウ仕方ガナイカラ、他ニヤ
ル途ガナイ、親戚ニ對シテモ知已ニ對シテ
モ、又他ニ抵當物件ガナイ、恩給證書シカ
ナイト云フ者ガ飛ンデ行ク、ソレヲ窓口デ
一々調査シ、又實際的ニ調査シテ、若干ノ
時日ヲ經過シテソレヲ貸付ケルト云フヤウ
ナ風ニ、手數ガ面倒ニナツテ來マスト、矢張
リ高利貸ヘ駆ケ付ケマス、是ハ祕密ニヤル
コトダカラ、恩給證書ヲ持ツテ借リニ行ク
是ハ委任シテヤルノダカラ現在ト同ジコト
ガ行ハレテ來ル、サウスレバ恩給金庫ヲ
スウヤツテ拵ヘタ目的ヲ達シナイ、我々ノ方
デモ色々ノ缺格條件ガアリマスケレドモ、
ガ極ク簡単デ、高利貸ヘ走ルノヲ停メテ、
此方ヘ引付ケルヤウニシテ便宜ヲ圖ッテ居
ル、デ之ヲ餘リ固ク御考ニナツカラ、遂ニ現
在ト變ラヌコトニナリハシナイカト云フ憂
ヲ持ツテ居ル、ソレニ對シテノ御考ヲ一ツ
伺ヒマス

話、先程ノ内田サンノ御質問、誠ニ御尤ナ
御話デ、此ノ運營ハ決シテ容易ノコトヂヤ
ナイ、寛嚴宜シキヲ得テ行カナケレバ、折
角金庫ヲ設ケマシテモ、其ノ趣旨ニ副ハヌ
コトニナリマスシ、サレバト申シマシテモ、
餘り緩ヤカニ致シマスレバ、却ツテ借金ヲ獎
勵シテ、先程内田委員ノ御話ノヤウナ惡イ
影響ヲ受恩給者ノ家族一般ニモ與ヘルト云
フコトニナリマスカラ、此ノ運營ハ決シテ
容易ナコトヂヤアリマセヌ、政府ハ十分ナ
覺悟ヲ持ツテ寛嚴宜シキヲ得ルヤウニ努メ
テ行キタイト考ヘ居ル次第アリマス
○内田重成君 其ノ問題ハ其ノ位ニ致シテ
置キマセウ、サウシテ金庫法ノ業務ヲ規定
シタ十八條ノ五號ニ、前各號ノ業務ニ附帶
スル事業ト云フノガアリマスガ、之ニ付テ
衆議院一部御説明ニナツテ居ル點モアリ
マスガ、此ノ席ニ於テ、各號ノ業務ニ附帶
スル事業ト云フノハドウ云フ事業デアリマ
スルカ、モウ一應詳細ニ御目論見ノ事業ヲ
御話ヲ願ヒタイ

ウ云フ仕事ヲスルト云フヤウナコトニ付テノ成案ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレハ金庫ガ只今ノ所デハ、御話ノヤウニ、十分ナ餘裕ヲ持ツ程度ニナツテ居リマセヌノデ、金庫ノ事務ガ非常ニ順調ニ進行致シマシテ、或程度ノ財的餘裕ヲ持チマシタ場合ニ實行スルコトニナルト考ヘテ居リマス、唯私共ノ豫定致シテ居リマスル仕事ト致シマシテハ、此ノ第四號迄ニ掲ゲマシタ以外ニ、例ヘバ支給期前ノ支拂、是ハ御承知ノ通り、年金ハ半年ニ一回、恩給ハ大體三月ニ一回ヅ、支給サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ支給方法ノ改善ト云フコトモ屢々問題ニナツタノデアリマス、大體現在都會地ニ住ンデ居リマスヤウナ受給者ト致シマシテ、半年ニ一回、或ハ三月ニ一回ト云フヤウニ給與金ヲ受領致シマスコトハ、支拂ノ上ニ相當困難ヲ感ズル、ソレガ爲ニ、三月ノ間、或ハ半年ノ間ノ繫ギト云フヤウナコトデ、金融業者カラ融通ヲ受ケマスト云フヤウナ事例モ相當多イ、是ハ農村ニ於ケル受給者等ハ、此ノ點ハ必ズシモ毎月ノ給與ヲ受ケマセヌデモ、支拂ノ關係上差支ナイト思ヒマス、又生活上ニ餘裕ノアル受給者ハ必ズシモ毎月

スルガ、都會地ニ住ミマスル所ノ、殊ニ下級ノ受給者ニ付キマシテハ、毎月給與ト云フコトヲ非常ニ希望スルノデアリマス、併シナガラ此ノ點ニ付キマシテハ、色々ノ關係カラ致シマシテ、今直チニ支給方法ノ改善ヲ致スト云フコトガ出來マセヌノデ、先づ取敢ズ恩給金庫ニ於テ、期月前ノ支給ト云フコトヲヤツテ見タラドウダラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、又年金恩給ヲ擔保トシテ金融ヲ受ケマス事情ニ付キマシテハ、先程來色々御質問ガアリマシタノデスガ、色々ノ事由ガアルト思フノデスガ、私共最モ氣ノ毒ダト思ハレマスノハ、本人ナリ或ハ家族ナリガ病氣ニ罹ツタヤウナ場合、今見ス／＼金ガナケレバ病院ニモ入レラレナイ、見殺シラスルト云フヤウナ場合デアリマシタト致シマシタナラバ、受給者ト致シマシテハ何トカシテ之ニ對スル一時ノ金融ヲ得タイト云フ風ニ考ヘルダラウト思フノデス、ソレカラ又子弟ガ入學ヲスル、入學スル場合ニ一時ニ金ガ要ルノダガ金ガナイ、ソレガ爲ニ入學ガ出來ナイト云フヤウナ事例、ソレ等ノ場合ニ於テハ成ルベク便宜ヲ圖ツテヤル必要ガアルト考ヘテ居リマスガ、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテ、出來得レバ簡易ナ診療位ハ恩給金庫デ出來ルヤウ

ニシテヤリタイト考ヘテ居リマス、又年金恩給受給者ノ中ニハソレ／＼ノ専門家モ居リマスコトデゴザイマスカラシテ、將來此ノ金庫ヲ媒介ト致シマシテ、各方面ノ年金ニ貢獻スルコトガ出來得レバ大變結構チャナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、具體的ノ、附帶業務ニ付テハ只今ノ所是ト云フ纏ツタ案ハナインデアリマスガ、將來ハ金庫ノ財的餘裕ヲ得ルニ從ヒマシテ、逐次ソレ等ノ事業モ行ヒマシテ年金、恩給受給者ノ福利ノ増進ニ貢獻シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○内田重成君 此ノ受給者ノ福利増進ト云フ廣イ見地カラ、何カ醫療機關ノ如キモノヲ作ルトカ、殊ニ其ノ世話ヲスルトカ云フヤウナ御考ハ此ノ中ニ入ラヌノデスカ

○政府委員(高木三郎君) 只今申上ゲマシタ中ニ、ソレモ含シニ居リマス積リデゴザイマス

○内田重成君 先程前田男爵カラ御話モアリマシタ、恩給金庫ガ此ノ設立要綱ニ依ッテ見マスレバ、東京以外支所トシテ大阪、名古屋、廣島、福岡、仙臺ガ舉げテアリマス、ソレカラ出張所ガ全國便宜ノ地ニ置クト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ支所竝ニ出

張所ハ恩給金庫ノ事務ノ全體ヲ取扱フモノノ外ノ場所ニ於キマシテハ、若シ衆議院ノ所、出張所ノ擴充ニ依リマシテ失ハレテ行クコト考ヘテ居リマス

○内田重成君 私ノ質問ハ一應是デ……

○伯爵山田英夫君 前田、内田兩議員ノ御質問ニ關聯シタコトデ、簡單ニ伺ヒマス、先程ノ御答辯デ此ノ民間ノ出資ノ者ハ相當ニ單ニ取次位ノモノニ過ギナイノデ、例ヘバ地方ノ信用組合デアルトカ云フヤウナ場所デハ貸付ノ決定權ハ持タナイモノデアルトモノデアリマスカドウカヲ一つ伺ヒタイノモノデアリマス

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御話ノ通リデアリマシテ、成ルベク決定等ヲ其ノ儘委託致スコトニナリマスレバ、所謂代行ト云フコトニナリマシテ、金庫ノ本來カラ考ヘマシテ、必ズシモ適當デナインデヤナシカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尤モ此支所、出張所等ノ中デ、現在既ニ專門的ニヤツテ居リマスヤウナモノガ大分アルノデス、

○内田重成君 先程前田男爵カラ御話モアリマシタ、恩給金庫ガ此ノ設立要綱ニ依ッテ見マスレバ、東京以外支所トシテ大阪、名古屋、廣島、福岡、仙臺ガ舉げテアリマス、ソレモ含シニ居リマス積リデゴザイマス

○政府委員(高木三郎君) 先程申上ゲマシタノハ、資本金出資ノ問題デゴザイマス、

○伯爵山田英夫君 サウ云フヤウナコトデ後援會ノ如ク出資ヲ希望スルヤウナモノデ纏モノハ成ルベク出資ヲサセルト云フ御方針ナンデスカ、百萬圓以上位ノ貸付ヲシテ居ルト云フノガ澤山アルト云フコトヲ聞

ラ其ノ中心地ニ至ル迄ノ間多少ノ不便ガア

ダラウト思ハル、ノデアリマスルガ、其ノルカモ分リマセヌガ、其ノ不便ハ漸次支

所、出張所ノ擴充ニ依リマシテ失ハレテ行クコト考ヘテ居リマス

○内田重成君 私ノ質問ハ一應是デ……

○伯爵山田英夫君 前田、内田兩議員ノ御質問ニ關聯シタコトデ、簡單ニ伺ヒマス、先程ノ御答辯デ此ノ民間ノ出資ノ者ハ相當ニ單ニ取次位ノモノニ過ギナイノデ、例ヘバ地方ノ信用組合デアルトカ云フヤウナ場所デハ貸付ノ決定權ハ持タナイモノデアルトモノデアリマスカドウカヲ一つ伺ヒタイノモノデアリマス

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御話ノ通リデアリマシテ、成ルベク決定等ヲ其ノ儘委託致スコトニナリマスレバ、所謂代行ト云フコトニナリマシテ、金庫ノ本來カラ考ヘマシテ、必ズシモ適當デナインデヤナシカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尤モ此支所、出張所等ノ中デ、現在既ニ專門的ニヤツテ居リマスヤウナモノガ大分アルノデス、

○内田重成君 先程前田男爵カラ御話モアリマシタ、恩給金庫ガ此ノ設立要綱ニ依ッテ見マスレバ、東京以外支所トシテ大阪、名古屋、廣島、福岡、仙臺ガ舉げテアリマス、ソレモ含シニ居リマス積リデゴザイマス

○政府委員(高木三郎君) 先程申上ゲマシタノハ、資本金出資ノ問題デゴザイマス、

○伯爵山田英夫君 サウ云フヤウナコトデ後援會ノ如ク出資ヲ希望スルヤウナモノデ纏モノハ成ルベク出資ヲサセルト云フ御方針ナンデスカ、百萬圓以上位ノ貸付ヲシテ居ルト云フノガ澤山アルト云フコトヲ聞

○政府委員(高木三郎君) 出來ル限リサウ

云フ恩給擔保金融ニ付テ本當ニ理解ノアル

方面カラシテ出來ル限リ出資ヲ願ヒタイト

考ヘテ居リマス

○伯爵山田英夫君 ソレカラ只今内田議員

カラノ御質問ノアリマシタヤウニ、成ルベ

ク早ク貸付ケルコトガ必要ダ、是ハ三井サ

ンカラモ御話ガアリマシタガ、サウ云フ趣

旨カラ見マスト、今ノヤウナ遠隔ノ地方ニ

アル所ノ此ノ業務執行機關ト云フモノニ貸

付クルカ否カト云フ權利ヲ與ヘテ置カナイ

ト隨分支障ヲ來シヤシナイカト思フノデス

ガ、如何ナモノデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 恩給年金ノ擔保

ノ貸付ニ付キマシテ、年金ノ方ハ比較的簡單

ダト思ヒマス、恩給法ノ關係カラ申シマス

ト、或場合ニ於テハ何シロ單純ニ行カナイ

ノデアリマス、誠ニ最低年度ノ貸付ノ如キ

ニナリマスト、矢張リ専門的ノ知識ガ要リ

マシテ、地方ニソレヲ委セマシテモ實際運

用ガ出來得ナイ場合ガアリマス、從ツテ包括

的ニ全部ノ權限ヲ委任スルト云フコトハ困

難デアリマスノデ、支所出張所、取扱店等

ノ各機能ニ從ヒマシテ、其ノ一部分ヅツノ

權限ヲ委任シテ置イタラ如何デアラウ、成

ルベク出來ル限リ迅速ニヤルト云フコトハ

一番大切ナコトダト考ヘマスノデ、其ノ點

支障ノナイト程度ニ於キマシテ地方ニ委任ヲ

致シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○伯爵山田英夫君 サウ致シマスト、今迄

農林省或ハ大藏省カラ監督ヲ得テヤンテ居ッ

タヤウナ産業組合アタリデ隨分ヤッテ居ル

ト云フヤウナ、善良ナ一廉良イ産業組合ナ

ドハ成ルベク今仰シヤツタヤウナ風ニ實際

ノ業務ヲサセルヤウニナサル御方針デアリ

マスカ

○政府委員(高木三郎君) 是モ先程チヨット

申上ガタノデアリマスガ、中ニハ年金恩給

擔保専門ノ組合ガアルノデス、名古屋、小

倉等ニサウ云フ例ガアリマシテ、是ハモウ

殆ドソレ専門ニヤツテ居ル、ソレ等ノ機關ハ

内容ガ宜シケレバ其ノ儘金庫ノ支所又ハ出

張所ニ致サウカト考ヘテ居リマス、又アチ

ラ側モサウ云フ風ニ希望致シテ居リマスノ

デ、場合ニ依ツテハ組合ヲ解散シテ其ノ出

外ハナイト考ヘルノデアリマス、現行法ニ

ヲ考ヘマシテ、此ノ程度デ一應満足スルノ

スガ、此ノ點ハ割合ニ今度ハ増額ヲシテ居

間ハ、增加恩給ノ一項二項ノ關係ト存ジマ

ドウ御考ニナッテ居リマスカ

○政府委員(船田中君) 大河内子爵ノ御質

問ハ、增加恩給ノ一項二項ノ關係ト存ジマ

スガ、此ノ點ハ割合ニ今度ハ増額ヲシテ居

ス

午後零時二分休憩

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低イ者ニ對

シテ低下致シテ居ル譯デアリマス、其ノ基

本ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレハ

シテ低下致シテ居ル譯デアリマスノデアリマスガ、

ナカノ一面倒ナ問題デアルノデアリマスガ、

大體當時ノ物價竝勞銀ヲ參酌致シマシテ、

只今迄定メテ居ルノデアリマス、唯一項二

項程度ノ重症者ニナリマスト、唯本人ダケ

ノ生活云々ト云フ問題デアリマセヌデ、

其ノ醫療トカ介護トカ云フ方面ニモ相當ノ

費用ガ要リマスノデ、其ノ點ヲモ參酌致シ

マシテ、只今迄定メテ居ツタノデアリマス、

處ガ現在ノ增加恩給ノ額ハ大正十二年ノ制

定デアリマシテ、其ノ當時カラ見マスト、

只今ハ若干物價モ騰ツテ居リマスシ、又全般

的ニ見マシテ、一項二項ト云フヤウナ程度

ノ高イ負傷者ニ對シテハ、出來得ル限リ優

遇ヲシタ方ガ宜シシト云フコトデアリマシ

テ、今回一項ノモノニ對シテハ三割、二項三

項ノモノニ對シテハ二割五分、四項ノモノ

ニ對シテハ二割、五項六項以下ハ漸次其ノ

率ヲ低下サセマシテ、大體ニ於テ平均二割、

メニナツタモノガアルデセウカ

○政府委員(高木三郎君) 増加恩給ヲ定メ

マシタ大體ノ基準ハ、第一項程度ノモノハ

大體獲得能力ヲ全ク失ツタト云フ風ニ考ヘラ

レル程度ノモノデアリマスノデ、ソレヲ基準

ニ致シマシテ、以下漸次症狀ノ低

二割程度ノ増額ヲ致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ、從來ノ額カラ見マスト、相當多額ノ増加ニナリマスノデ、一項症程度ノモノニ致シマスレバ、増加恩給、普通恩給ヲ加ヘマシテ、最低ノ兵ニ於テモ千三四百圓程度ニハナルノデアリマシテ、一般ノ文官竝軍人ノ普通恩給等ト比較致シマシテモ、必ズシモ少い額デハナイノデゴザイマス、尤モ是ハ農村ト都會トデハ事情モ異ッテ居リマスルガ、殊ニ農村等ニ於テハ、年額千二三百圓ト云フヤウナ額ハ相當ノ大キナ額デアリマシテ、是レ以上ニ増加スルノ必要ハ當分ナインヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

終身年金ヲ給スルダケデアリマシテ、遺族扶助料ニ及バナイノデアリマシテ、偶傷病年金ヲ受ケル程度ニ達シタ者ガ普通恩給ヲ受クベキ年限ニ達シタ場合ニ、初メテ普通恩給ヲ受ケル譯ニナルノデアリマス、其ノ爲ニ從來傷病年金ヲ受ケマシタ者ト增加恩給ヲ受ケマシタ者トノ境ニ於ケル均衡ガ十分取ラレテ居ラヌト云フコトヲ屢々訴ヘラレルノデアリマス、ソレデ今回ハ其ノ關係ヲ滑カニ致シマス目的ヲ以チマシテ、從來ノ增加恩給ノ分ノ六項ノ外ニ更ニ一項ヲ増シマシテ、第七項ト云フモノヲ作ッテ、反對ニ傷病年金一款ノ金額ヲ增加致シタノデアリマス、其ノ結果傷病年金ノ一款ト增加恩給ノ七項トハ、額ニ於テハ傷病年金第一款ノ方ガ實體額ニ於テハ多イノデゴザイマス、但シ增加恩給ニハ普通恩給ヲ伴ヒマスノデ、普通恩給ヲ加ヘタ額ト比較シテ、大體傷病年金ト增加恩給トノ權衡ヲ得ラレルヤウニ計畫致シタノデアリマス、同様ノ關係ガ傷病年金ト傷病賜金トノ間ニ起ルノデアリマシテ、傷病賜金ノ方ガ一時金デアリマスル關係上、額ニ於テハ少クテモ宜シイカラ、傷病賜金ヲ全部傷病年金ニシテ貰ヒタイト云フ希望ガ、所謂

一時賜金撥兵ト申シマスカ、サウ云フ方面
カラ頻ニ要望セラレテ居ルノデゴザイマス、
併シナガラ今回改正ニナリマシタ傷病年金
ハ、從來ノ傷病年金ノ第一款程度ノモノハ、
增加恩給ノ第七項ニ置イテ、逐次上リマス
爲ニ、傷病賜金ノ從來ノ第一目二目程度ノ
モノガ、新ラシイ傷病年金ノ第四款程度ニナ
ル譯デアリマス、サウ致シマスト、アトニ
残リマシタ傷病賜金ノ程度ト云フモノハ極
メテ輕イモノデアリマシテ、其ノ程度ノモ
ノ迄モ尙終身年金ヲ給スル必要ガアルダラ
ウカト云フコトハ疑ガアル譯デアリマス、
又症狀等差ト申シテ居リマスガ、此ノ症狀
等差ハ是ハ勅令デ定メルコトニナッテ居リ
マス、此ノ法案成立後ニ於キマシテ勅令ヲ
以テ症狀等差ヲ定メマスノデアリマスガ、
其ノ症狀等差ハハッキリシタ成案ヲ持ッテ居
リマセヌガ、大體只今考ヘテ居リマス程度ノ
症狀等差ヲ基準ト致シマシテ考ヘマスト、
只今耳ニ致シマスト、一耳ノ聽力ガ四十「セ
ンチメートル」以上ニ於テ耳語ヲ解シ得ザ
ルモノト云フノガ、此ノ傷病賜金ノ第一目
ニナル譯デアリマス、片方ノ耳ノ聽力ガ四十
リマシテ、斯ウ云フ程度ノ輕イモノ迄モ尙終身

年金ヲ給與スルト云フコトガ、國家財政ノ上
沿革的ニ申シマスレバ、傷病賜金、只今傷病
賜金ト申シマスノハ、恩給法改正前ニ於テハ
賑恤金ト稱シテ居リマシテ、下士以下ノ軍人
ノミニ給セラレテ居シテ、准士官以上ニハ賑
恤金ガナイノデゴザイマス、之ヲ要スルニ、
僅カノ傷デモ傷ヲシタナラバ、國家ガ總テ
之ヲ賠償シテヤル譯ニ行カナイ、併シ下級
ノ軍人ニ於テハ程度ノ輕イモノデモ賑恤ス
ルト云フ意味ニ於テ給與スルト云フ本來ノ
趣旨デアッタラウト考ヘテ居リマス、ソレ等
ノ點ヲ綜合シテ考ヘマスレバ、今回ノ改正
後ニ於キマシテハ下級者ニ對シテ是レ以上
増額スル必要ハナイノデナカラウカト云フ
風ニ考ヘテ居リマス

行カウト云フノデアリマスカ、ソレハドウ

○政府委員(高木三郎君) 元來カラ申シマ
スレバ、恩給ノ給與ニ當リマシテハソレ等
ノ事情ヲ參酌スル必要ガアルト考ヘテ居ル
ノデアリマス、職業ニ依リマシテモ、亦財
産ノ有無ニ依リマシテモ、家庭ノ員數ニ依
リマシテモ、或ハ都會ニ住ムカ、地方ニ住
ムカト云フヤウナコトニ依リマシテ、御話
ノヤウニ職業ニ依ッテモ、變ラナケレバナラ
ナイト思ヒマスガ、唯恩給法ノヤウナ規定
デハ劃一的ニ定メルト云フ以外ニチヨット
方法ガナイノデゴザイマス、ソコデ出來得
ル限リ實際即シタイト云フ氣持ハ持ッテ
居リマスノデ、現ニ今回改正ニナリマス扶
助料ニ付キマシテハ、家族ノ員數ニ應ジテ
先ヅ試驗的ニ行ツテ見ルト云フコトヲ考ヘ
テ居リマス、又外國等ノ例ニ於キマシテハ、
俸給等ヲ家族ノ員數ニ應ジテ給與シテ居
ルト云フ例モアルヤウデアリマス、將來ノ
問題トシテハ研究スル餘地ハ十分アルト考
ヘテ居リマス、現在ノ程度ニ於キマシテハ
恩給局ノ機構ナリ、或ハ法制ナリト云フ立
スル以外ニ適當ノ方法ガナイノデアリマ
ス、ソコデ私共ノ考ヘテ居リマスノハ、一

體恩給ニ對スル問題ハモット根本的ニ考へ
ル必要ガアルト考ヘテ居リマス、恩給制度
全般ニ通ジマシテ、國家ノ財政ナリ或ハ制
度ノ何ナリヲ考ヘマシテ、モット根本的ノ問
題ヲ研究シナケレバナラヌト考ヘテ居リマ
スガ、姑クノ問題トシテハ現狀デ劃一的ノ
現定ヲ致シマシテ、尙ソレニ足ラザル點ハ
他ノ諸施設ヲ以テ補フト云フコトガ必要デ
アルト思フ、例ヘバ厚生省ニ於テヤツテ居
リマス所ノ職業ノ輔導デアリマストカ、或
ハ再教育デアリマストカ、療養設備デアル
トカト云フヤウナ、各種ノ厚生省ニ於ケル
施設ヲ併セ行ヒマシテ、恩給法ノ足ラザル
所ヲ共ノ方面ニ於テ補フト云フ外、只今ノ
所デハ方法ハナイノデハナイカト云フ風ニ
考ヘテ居リマス

タノデス、唯例外ト致シマシテ恩給法ヲ適用スルト云
當時在職シタ者デ、而モ其ノ在職ニ引續キ
タル在職ハ新ラシイ恩給法ヲ適用スルト云
フ例外ヲ設ケテ居ツタ譯デアリマス、ソレデ
アリマスカラシテ、此ノ類似ノヤウナ例ハ
ソレハ絶対ニナイトハ申上ゲ兼ネルノデア
リマスケレドモ、比較的此ノ種ノモノハ少
イノデアリマス、ドッヂカト申シマスレバ、ソレ
其ノ當時ニ之ヲ入レテ置キマスレバ、問題
ハナカツタト考ヘマスケレドモ、極ヌテ數
ガ少イモノデアリマスカラ、當時ノ状況カ
ラ致シマシテ、此ノ程度ノ者迄遡及セシメ
ルコトガ適當デアルカドウカト云フコトニ
對シテ、マダハツキリシタ觀念ヲ持合ハシ
テ居リマセヌノデ、其ノ當時之ヲ加ヘテ居
ラナカツタノデス、其ノ後此ノ問題ハ屢々兩院
ノ請願ニモ出マシテ、兩院トモ此ノ程度ニ
於テ認メル、遡及ヲ認メルト云フコトハ適
當ナリト云フ風ニ御考ニナリマシテ、請願
ノ採擇ニモナツテ居リマスノデ、此ノ部分ダ
ケヲ今回此ノ中ニ規定ヲ致ス積リデ居リマ
ス、尙之ニ關聯シマシテ、同様ノ北海道森
林監守デアリマシテ、引續キ道廳森林主事事
トナツテ、其ノ後ニ一旦切レタ場合、切レタ
場合ニモ尙此ノ七條ノ改正ト同ジヤウニ遡

近ニ出テ居リマス、又少シ種類ハ違ヒマスガ、警察官職員ニ付テモ同様ノ請願ガ出テ居ルノデアリマスカラ、是等ハ恩給法ノ九十條ニ只今申上ゲマシタ不遡及ノ原則、ソレニ對スル例外トシテ引續キタル在職ノミヲ恩給法ヲ適用スルト云フ原則カラ致シマシテ、今後トモ其ノ程度ノ改正ハ、無理デアラウト考ヘテ居リマス、サウ致シマスト、現在ニ於キマシテハ北海道森林監守ノ問題ガ現實ニ現レテ居ル以外ニハ、他ニハ之ニ類似ノモノハ差向キガゴザイマセヌデアリマス

一方カラ考ヘレバ、ドウニデモ言ヘマスガ、良イ方カラ考ヘレバ、大體御扱ヒモ困難デセウシ、是ガ出来タカラ、行キナリ此ノ規定通リビシ／＼ヤルト云フコトハ行キ過ギ

ナイト思ヒマスガ、如何デスカ

大體已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ此ノ恩給金庫法
ノ方デ伺ヒマスガ、之ニ付キマシテ、衆議
院ノ希望トシテ今迄ノ肩替リシロトカ云フ

ヤウナコトガアリマスガ、是モマア考ヘ
アウニ衣ツニヽ竊々無理ヅヽ思ニマスガ、併

シ又借リテ居ル人カラ言フト、肩替リヲシ
テヤリタイト云フヤウナ氣モシマスガ、其
ノ邊實際ドウ云フ風ニ御考デゴザイマセウ
○政府委員(船田中君) 只今ノ御尋ニ付キ
マシテハ、衆議院ノ委員會ニ於テモ可ナリ

具體的ナ問題ヲ捉ヘテ御質疑ガアリマシタ
デスガ、政府トシテ考ヘテ居リマスルノハ、
之ヲ具體的ノ個々ノ場合ニ付テ考ヘテ行キ
タイト思フノデアリマス、抽象的ニ、全般
的ニドウ云フ種類ノモノハ肩替リヲスルト
云フコトヲ豫メ申上ゲルコトハ出來マセヌ
ガ、實際ノ個々ノ具體的ノ場合ニ付テ、弊
害ノ無イモノハ相當程度肩替リヲシテ行カ

○子爵大河内輝耕君 尚一點伺ヒマスガ、
此ノ恩給金庫法ニ付テハ、出資ハ政府ガ全
部ヤルト云フヤウナ御考……案モアツカサ
ウデスガ、ソレハコチラデ御質問ガアリマ
シタノナタ御答ニ及ビマセヌガ、ゴザイマ
セヌケレバ……是ハドナタカ御尋ガアリマ
シタデスカ

○政府委員(船田中君) 是ハ先程御質問ガ
ゴザイマシテ、一應御答ヘ申上ゲテ置キマ
シタ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ後ニ廻シマ
セウ……若シドナタカ御質問ガアリマシタ
ラ、仰シヤッテ戴ケバ、ソレデ宜シウゴザイ
マスガ、此ノ二十二條ノ業務上ノ餘裕金ノ
運用ト云フ所ニ有價證券ト云フ字ガアリマ
スガ、此ノ有價證券ト云フモノハドウ云フ
モノヲ指シテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(船田中君) 此處ニ有價證券ト
舉ガマシタノハ、一般ニ市場ニ謂ツテ居リ
マス有價證券デアリマシテ、特別ノモノデ
債モ入リマセウ、其ノ三ツト思ツテ宜シウゴ
ザイマスカ

○政府委員(船田中君) 他ノ會社ノ株式ヲ持ツト云フヤウナ場合ハアリマセヌカラ、先ヅ公債、社債……確實ナル社債ト云フ程度ニ止マルカト存ジマス

リマセヌカ

ヌト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、事實

上持ツニトハナガテウロ有シテ居リマス
○子爵大河内輝耕君 此ノ二十五條ノ所ニ

是モ大體宜シイノデゴザイマセウナ

○政府委員（船田中君）　是モ先般私カラ一

應政府ノ意見未申上外テ體ヨリシ久元是
ハ受恩給者ノ金ヲ借リル便宜ノ爲ニ但書ヲ

置キマシタノデ、ソレガ却テ誤解ヲ生ズル

ニナリマシテモ、政府トシテハ別ニ差支ナ

イト云フ積リデス

ガ、此ノ總理大臣、大藏大臣監督スト云フ

ノ名ヲ書クト云フノハ餘リ穩當デナイヤウ

ニ私ハ思フノデス、元來官制大權ハマア勅

ンデ、是モデスネ、斯ウ云フ風ニ書イテアッ

テモ、官制ガ他日變テ、恩給金庫ハ例ヘバ
厚生省ノ所管ナラ厚生大臣ノ所管ニスルト
云ツテ、官制ヲ變ヘテシマヘバ、此ノ四十七
條ト云フモノハ死文徒法ニナッテシマフ、斯
ウ云フ變ナコトヲ書カナイデモ、矢張リ議
會ノ權限ト政府ノ權限ハ明カナノデ、モウ
少シチャント言ヘバ、立法事項ト大權事項
ハハツキリシテ居ル、斯ウ云フモノハ主務大
臣トシテ、サウンシテ誰ガ監督スルカト云フ
コトハ官制ノ決定スル所ニ任カセルノガ當
然ダラウト思フ、其ノ點ハ如何デゴザイマ
スカ

<p>○子爵大河内輝耕君 大權問題ヲヤカマシク致スト面倒デスガ、ソレデ止メマシテ、大臣ナリ内務大臣ノ監督ニスルヤウニ變ヘラレタナラバ、此ノ四十七條ハ死ンデシマヒマセウネ</p> <p>○政府委員(船田中君) 左様ナ場合ニハ、法律ヲ改正スル以外ニ、之ヲ活カシテ行ク方法ハ無イカト存ジマス</p> <p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト、官制ヲ變ヘルノハ、法律ヲ變ヘナケレバ、官制ノ改正ガ出来ナイト云フコトニナリマスカ、ソレトモ官制ヲ改正サレタナラバ、議會ハ否應ナシニソレラ協賛シナケレバナラヌコトニナルト云フノデスカ、若シモ官制ノ上ニ於テ外ノ大臣ニ認メラテ、サウンシテ議會ガソレヲ認メナカッタラ、ドウナルノデスカ</p> <p>○政府委員(船田中君) 勿論官制大權ト議會ノ權限トハ截然區別致サナケレバナリマセヌケレドモ、只今ノヤウナ微妙ナ點ニ付キマシテハ、大體議會ニ先ニ改正案ヲ提出致シマシテ、サウシテ其ノ後ニ官制ヲ改正スルト云フヤウナコトニナラウカト存ジマス</p>	<p>レヲ否決シチマッタラ、官制ノ改正ハ出來ナレバ、御指摘ノ通リダト存ジマス</p> <p>○子爵大河内輝耕君 餘リ是ハヤカマシク言ヒマスト、何デスカラ、極クヤカマシクナイ意味ニ質問ヲ取ッテ戴キタイノデスガ、デ、マア是レ以上法律論ハ止メマスガ、御話通り、是ハ主務大臣ト書イタッテ別ニ差支アリマセヌデスナ</p> <p>○政府委員(船田中君) 差支ハ無イト存ジマス</p> <p>○委員長(三井清一郎君) チヨット大河内子爵ノ質疑ニ關聯シタコトヲ私……私ハ委員トシマシテ關聯シタルコトデ、先刻大河内子爵カラ恩給法ノ質疑ノ時ニ、所謂下ノ方ガソラ十分ヂヤナイト云フ意味ノ御質疑ガアリマシタガ、ソレハ多分此ノ從來ノ傷病賜金第一目第二目程度ノ傷病ヲ第四款症ニ年金症ニ繰上げテ……デアリマシタガ、モアリマシタ通リニ、他ノ施設ニ依リマシテ、例ヘバ厚生省ノ差當リノ主ナ仕事ガ矢張リ此ノ傷痍軍人保護對策ト云フヤウナコトニ重點ガ置カレルト存ジマス、従ツテサウテ居ル、是ハ何カ外ノ方法デサウ云フモノノ以外ノ繰上げナイモノハ大變ソコニ差ガキマシテハ、大體議會ニ先ニ改正案ヲ提出致シマシテ、サウシテ其ノ後ニ官制ヲ改正スルト云フヤウナコトニナラウカト存ジマス</p>	<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト、議會ガソ</p> <p>○政府委員(船田中君) 若シ左様ナ場合ニハ他ノ方法デ救濟ノコトヲ考ヘルト云フヤウナ答辯ガアッタヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ニ上ゲタラ宣イデヤナイカト云フ意</p> <p>○政府委員(船田中君) 只今ノ御質問ハ誠ニ御尤デゴザイマシテ、衆議院ニ於テモ可ナリ其ノ點ニ付テ御論議ガゴザイマシタ、併シ何處カニ矢張リ階段ヲ設ケナケレバナラヌモノデスカラ、先ヅ出來ルダケ階段ハナダラカニ致シマスケレドモ、併シ此ノ階段ノ境目ニナリマシタモノニ付テハ、只今委員長ノ御話ノ通リノ多少ノ公平ヲ失スル虞ガアルデヤナイカト云フヤウナ點ガナキニシモアラズデアリマス、併シ極メテ輕症ナモノニ付キマシテハ、只今御質問ノ中ニモアリマシタ通リニ、他ノ施設ニ依リマシテ、例ヘバ厚生省ノ差當リノ主ナ仕事ガ矢張リ此ノ傷痍軍人保護對策ト云フヤウナコトニ重點ガ置カレルト存ジマス、従ツテサウテ居ル、是ハ何カ外ノ方法デサウ云フモノノ救濟シヨウ、デ以テ斯ウ云フモノヲ、僅カ紙一重ノ差ゲ、本當ノ傷病等差ガ紙一重ノ差デアルノダカラ、一部ヲ上げテ一部ヲ</p>
--	---	---

○委員長(三井清一郎君) 尚先刻大河内子
爵カラ恩給金庫法案ノ二十五條ノ但書ヲ衆
議院デ修正シタコトニ付テ御質疑ガアリマ
シタガ、又斯ウ云フ場合ヲ一ツ御考ヲ願ハ
ナクチヤナラヌト私ハ存ジマスガ、此ノ但
書ハ、今各斯ウ云フ恩給證書ヲ利用シタ貸
付ヲヤツテ居ル團體デハ、危險負擔ヲ顧慮シ
テ、保險ニ入ラレナイヤウナ年齡ノ人ニハ
貸付ケシテ居ナイ、政府ノ此ノ但書ヲ御入
レニナッタ、所謂保險ニ入ッテ、其ノ若シ
死亡シテ恩給デ還ラヌ場合ニハ、保險金デ返
スペキモノヲ返サウト云フコトニモナルノ
デアリマセウガ、保險ノ付カナイモノニハ、
矢張リ此ノ遺族ニ恩給年金ノ及ブ特約ヲシ
ナケレバ、サウ云フ年ノ寄ッタ人ニハ貸付ケ
ナイ、是ガ特ニ實際ノ狀況ハ斯ウ云フ年ノ
寄ッタ人ノ救濟ガ寧ロ必要デアルト云フヤ
ウニ私ハ多年考ヘテ居ルノデアリマス、此
ノ但書ハ寧ロ政府ハサウ云フ方面ノ顧慮カ
マスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ
ラ御入レニナッタノデハナイカト思テ居リ
第二十五條ニ但書ヲ置クコトガ受恩給者ガ
金融ヲ受ケル場合ニ於テ便宜デアラウト云
フ趣旨デ立案ヲ致シタノデアリマスガ、先

程モ大河内子爵ニ御答ヲ申上ゲマシタ通りニ、衆議院ニ於キマシテ、此ノ點ハ恩給或八年金ノ性質上異例デアルト云フコトデ、出来ルダケ其ノ範圍ヲ狭クシタ方ガ宜カラウト云フヤウナコトガ絶対ニ動キガ取レナイト云フコトデモナカラウト存ジマスルノデ、此ノヤウナコトガ絶対ニ動キガ取レナイト云ノ點ハ先程大河内子爵ニ私カラ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、致命的ノ修正ト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

ヨリモ恩給金庫ノ方ハ高イト云フヤウナ批
難ヲ受ケヤセヌカト心配致シマスガ、ソレ
危険負擔ヲ成ルベクナイヤウニシテ、利率
ヲ下ゲルダケ下ゲテ、手數料モ成ルベク低
クシ得ルダケ低クシタ方ガ宜イデヤナイカ
ト云フ感ジモ致シマス、其ノ邊如何、デゴザ
イマスカ

證料ヲ拂ツタ方ガ安クナルト云フ結果ニナリマシテ、平均三分ト申シマンシモ、全部マスカラ、其ノ點ハ必ズシモ高利ダト云フ風ニモ考ヘラレナイヂヤナイカ、保證料ガ保險ノ拂込金ニ當ルモノデアルト云フ風ニ考ヘマスレバ、寧口現在ヨリモ安クナルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス

○男爵前田勇君 チヨット關聯シタコトデ御伺ヒ致シマス、恩給法ノ今度ノ改正ニハ目症ハ増額ガセラレテ居リマセヌ、矢張リ同ジ負傷ヲシテモ、一方ハ増額ヲサレ、目症ノ方ダケハ増額ヲセラレスト云フコトデアリマスルト、ソコニ均衡ガ非常ニ取レテ居ラヌデヤナイカト思ハレマス、三井委員長カラノ御質問ノヤウニ、目症ヲ一舉ニシテ款症ノ傷病年金程度ニオ上ゲニナッテハト云フ何カ理由ガアルデアラウト思ヒマスガ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(高木三郎君) 目症程度ノモノ即チ傷病賜金ヲ給セラレル程度ノモノハ、現在ノ規定ニ依リマスルト、退職後一年内ニ之ガ爲ニ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタルトキト云フコトニナリ、單ニ是ハ先程法制

局長官カラモ御説明ガアリマシタヤウニ、症狀等差ヲ從來ヨリ改メタイト考ヘテ居リマス、只今腹案ニナッテ居リマス症狀等差ノ改正後ニ於キマシテ殘リマスモノハ比較的輕症デアリマシテ、場合ニ依リマシテハ、其ノ程度ノモノハ兵役免除ニナラナイヂヤナカト云フコトヲ懸念シテ居リマス、殊ニ最近ノ長期戦ノ關係カラ致シマシテ、例ヘバ小指一本ノ機能ヲ廢シタ云フ程度ノ者ハ、現役ニドンヽ採ラナケレバナラヌ状況ニナッテ來ルト思ヒマス、サウ云フ點カラ考ヘマスルト、寧ロ傷病賜金ト云フモノハ要ラナクナルヂヤナイカト云フ位ニ實ハ最近ニ於テハ考ヘテ居リマスクレドモ、兎ニ角現在ノ制度ノ上ニアリマスノデ、之ヲ残シテ置キマスルガ、傷病賜金ヲ給セラレル者ガ比較的將來ハ少クナルト私共ハ考ヘテ居リマス、又或時期ニ於キマシテハ傷病賜金ト云フモノガナクナル時代ガ來ルノデアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、旁々此ノ際傷病賜金ヲ上ゲテ置キマスト云フコトガ、將來ノ改正ノ上ニ支障ヲ及スヂヤナイカ、ソレカラモウ一ツ之ヲ現狀ニ止メマシタ理由ハ、今回改正後ノ傷病年金ノ第四款ノ額ト、傷病賜金ノ第一目ノ額トヲ御比較ヲ願

傷病年金ノ最低額ハ百五十圓、處ガ傷病年金ニ付キマシテハ御承知ノ通り有期傷病年金ト云フ制度ガアリマシテ、將來機能ヲ回復スル見込ノアリマス者ニ付キマシテハ、五年間ノ期間ヲ附ケテ給與致シテ居リマス、五年目ノ終ニ於テ症病恢復致シテ居リマスベ、ソレハ傷病年金ヲ爾後給與シナイコトニナリマス、ソレト比較シマスト、現在ノ第一目ト云フモノガ丁度傷病年金ノ七倍バカリニ當ツテ居リマシテ、ソレトノ比較ニ相當スルノデアリマシテ、其ノ點カラモ此ノ傷病年金ノ第一目ヲ六百圓程度ニ止スルト云フコトガ適當デハナイカ、又今度改正ニナリマス一つノ項目ト致シマシテ、從來傷病賜金ヲ受ケマシタ後ニ事後重症ニナック場合、傷病賜金ヲ豫メ受ケテ居ル方ガ受ケタダケ得ダト云フ結果ニナル、是ハ受ケナイ者ト受ケタ者トノ權衡上カラ考ヘマシテ、甚ダ不均衡デアルト考ヘマスノデ、事後重症ニナックト云フ場合ニハ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ、或部分ヲ返還セシムル豫定ナンデアリマス、旁、ソレ等ノコトヲ考ヘ

合セマスト、只今ノ傷病賜金ヲ是レ以上ニ
増額致シマスト云フコトガ適當デナイデヤ
ナイカ、是ガ傷病賜金ヲ今回増額致サナカツ
タ理由デアリマス

○男爵前田勇君 今ノニ關聯シテ、前回三
井委員長カラモ御質問ガアリマシタガ、増
加恩給ノ第七項症ト、ソレカラ傷病年金第
一款症デアリマス、之ニ關シマシテ恩給法
ノ第六十五條ノ二ノ第一項ニ但書ガ今度加
ヘラレタ、其ノ但書ヲ拜見シマスト、別表
第三號表ノ金額ノ十分ノ七・五ノ金額ヲ以テ
傷病年金トスルト云フコトニナッテ居リマ
スガ、恩給ハ先刻モ政府委員カラ御話ノア
リマシタヤウニ、明治天皇ノ有難イ思召
デアル、ソレハ今一種ノ權利ニナッテ居ルト
云ヤヤウナコトガアリマシタノデ、普通恩
給ト併給セラレル場合ガアリマシテモ、矢
張リ傷病年金ノ恩給ハ斯ウ云フヤウニ減額
セナイデモ宜イデヤナイカト云フ風ニ實ハ
考ヘラレルノデアリマス、殊ニ此ノ兵卒ハ
普通恩給ノ併給セラレル場合ハ少カラウト
思ヒマスガ、下士官、準士官ニ對シマシテ
イダラウ、サウ致シマスト、折角サウ云フ
ル場合ニハ、是ダケノ率ヲ減額セラレルト

云フコトハ、此ノ恩給ヲ一つノ權利ト見マ
スレバ、權利ヲ侵害、ト言フトヨット語
弊ガアリマスガ、サウ云フ風ニモ實ハ考ヘ
ラレルヤウニ思フノデアリマスガ、其ノ邊
ノ御考ハ如何デアリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 其ノ點ハ先程申
上ガマシタ增加恩給ト傷病年金、傷病年金ト
傷病賜金ノ給與ノ關係ヲ滑カニスルト云フ
目的デ、國家ガ今回制定シマシタ、此ノ案
ノ一ツノ缺點デアルト考ヘテ居ルノデアリ
マスガ、普通恩給ヲ併給セラレル場合ト云
フモノハ比較的少イノデアリマシテ、殊ニ
此ノ頃在職年限ヲ延長致シマシタ關係上、
下士官デアリマシテモ普通恩給ニ達スル
ト云フ者ハサウ多クハナイ、實際只今迄取
扱ッテ居リマス例カラ見マシテモ、過去ノ方
ハ極メテ少數デアリマス、大多數ノ者ハ普
通恩給ヲ持ッテ居リマセヌノデ、普通恩給ヲ
加味シタ傷病年金額ヲ定メルト云フコトガ
ドウモ必要デアリマシテ、定メマスト、第
七項ガ傷病年金ノ額ヨリモ多クテハ其ノ目
的ヲ達セラレナイ、結局多數ノ爲ニ少數ノ
者ガ犠牲ニナルト云フ結果ニナリマシテ、
非常ニ氣ノ毒ニモ考ヘラレマスケレドモ、
實際ノ場合ニ七項ノ方ガ症狀ガ重イノニ拘
ラズ、第一款ノ者ハ七項ヨリモ餘計ニ給與

セラル、ト云フコトハドウモ不合理ナノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ、普通恩給
ヲ併給セラル、場合ニ於テハ、勅令ニ依ル
傷病年金第一款ト云フモノガ出来タモノト
考ヘレバ、格別ノ矛盾ハ起ラナイノデアリ
マス、併シ尙施行ノ實際ニ當リマシテハ、
現ニ一款ヲ持ッテ居リマスル者ガ七項ニナ
ルト云フヤウナ場合モ將來ニ於テアルカト
思ヒマス、サウ云フ場合ニ於テハ同様ノ問
題ガ起ルノデアリマスケレドモ、既ニ給與
セラレテ居ル者ニ付テハ之ヲ減額スルト云
フ考ハナイノデアリマシテ、ソレハ經過規
定ニ於テ救ハレルト考ヘマス、唯將來是ノ
給與ヲ受ケマス者ニ付テハ、症狀ノ輕イ者
ガ症狀ノ重イ者ヨリモ餘計給與セラル、ト
云フコトハ、如何ニモ不合理ナノデアリマ
ス、已ムヲ得ズ六十五條ノ二ノ一項ノ但書
ヲ附ケマシタノデアリマス

ルダラウト思ヒマス、處ガ扶助料ハ三百二
十四圓デアリマス、戰死シタ年ハ約二千圓
ノ金ヲ貰ヘマスガ、モウ直グ翌年ハ三百二
十四圓ノ扶助料デ暮サナケレバナラヌ、ソ
コノ階段ノ差ガ非常ニアルノデアリマス、
此ノ事ハ衆議院デモ論議サレ、當局カラモ
御説明ガアツタノデ、能ク承知ハシテ居リマ
スケレドモ、增加恩給ヲ貰テ居リマス第一
項症、第一項症ト云フト、相當程度ノ重症
デアリマスガ、兵卒ノ增加恩給ト併給セラ
ル、普通恩給ヲ考ヘマスト云フト、千三百
五十圓ニナル、一方遺族ハ二千圓貰フモノ
ヲ貰ッテ、翌年カラ三百二十四圓ニ下ガル、
第一項傷ノ者ハ千三百圓宛ズツト貰ッテ行ク、
其處ノ所ニ均衡上下ドウモ遺族ガ餘り可哀サ
ウニモ考ヘラレルノデアリマス、戰死總數
ガドノ位アリマシタカ明瞭ニハ申上ゲラレ
マセヌガ、今ノ現在ノ上等兵ノ特別賜金ガ
千四百圓、若シ二萬人ノ戰死者ガアルトシ
テモ二千八百萬圓、ソレデアリマスカラ、
現在ノ上等兵ノ特別賜金ガ倍額ニ増加サレ
タモノトシマシテモ二千八百萬圓、戰爭ノ
二三日分ノ費用デ済ンデシマヤシナイカト
考ヘラレルノデアリマス、サウ云フコトヲ
考ヘマスト云フト、此ノ戰死者ノ扶助料ニ
付キマシテハ、下級者ニモウ少シ増額ヲサ

○政府委員(船田中君) 前田男爵ノ御質問
眞ニ御尤デゴザイマシテ、戦死者遺族ノ扶助料ガ増加恩給ヲ貰テ居ル公傷病者ヨリモ、比較致シマシテ、非常ニ少イト云フ點ニ付キマシテハ、是亦衆議院ニ於テ大分御議論ガアリマシタ、併シ此ノ公傷者ニ付キマシテハ、御承知ノ通り、生キテ居ルガ爲ニ、特別療養介護ヲ要スルト云フヤウナコトカラ、非常ニ金ガ要リマスノデ、是等ニ對シテハ出來ルダケ手厚イ療養介護ノ出来ルヤウナ趣旨ニ於キマシテ相當ナ増額ガ立案セラレタノデアリマス、遺族ノ扶助料ニ付キマシテ年額三百二十四圓ト云フコトニナリマシテ、先づ最下級ノ一等兵ニ付キマシテモ大體年額三百圓、月額二十五圓ト云フコトニナリマスルノデ、之ヲ個人々々ニ付テ見マスレバ、可ナリ少イト云フコトハアラウトハ存ジマスケレドモ、大體農村ノ生活、其ノ他一般ノ情勢カラ見マスルト云フト、其ノ増率モ約八割ノ増率ニナッテ居

リマスルノデ、政府トシテ國家全般ヲ見渡シタ時ニ於テハ、先づ此ノ程度ノ増加ヲ以テ満足スルノ外ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ此ノ一時賜金ノ問題ニ付キマシテハ、陸軍當局カラ御説明ガアルト思ヒマスガ、新聞ニモ誤リ傳ヘラレマシタヤウニ、政府デ一時賜金ヲ非常ニ多ク支給スルト云フヤウナコトガ傳ハリマシテ、是ガ社會的ニ大分影響ヲ與ヘテ居リマスガ、是ハ全ク誤解ニ基ク新聞記事デアリマシテ、政府トシテハ左様ナコトハ考ヘテ居ラナカッタノデアリマス、出來ルダケ賜金ナリ扶助料ナリノ支給ヲ簡易迅速ニヤツテ、サウシテ遺族ナリ或ハ恩給ヲ受クル者ノ便宜ヲ圖リタイ、又出來ルダケノ國家ノ優遇ノ途ヲ講ジタイト云フコトカラ、アノ新聞記事ガ傳ヘラレタノデアリマス、結局立案ヲ致シマシタ成案ガ今回ノ改正案デアリマシテ、陸軍ニ付テ言ヘバ、最下級ノ者ガ先づ月額二十五圓ノ遺族扶助料ヲ支給セラル、ト云フ程度ヲ以テ満足シナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、而モ遺族ノ員數ニ應ジマシテ、表デ御覽ノ通リニ、三人以上ノ遺族ノアリマスル場合ニ於テハ相當ニ増額ヲセラレマシテ、從ツテ現行法ニ比較致シマスト云フト、遺族人數ガ五人以上ニナツタ場合ニ於

テハ十六割一分ト云フヤウナ増率ニナリマスルノデ、是ハモウ從來ニ見ナイ相當ナル增額デアルト存ジマス、先ニ申シマス通り、個々ノ人ニ付テ見レバ、勿論十分トハ言ヘマセヌケレドモ、今日ノ情勢ニ於キマシテ、先ヅ此ノ程度ヲ以テ満足シナケレバナラヌト云フヤウニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス

圓ト云フ風評ガ現レマシタ時ニ、非常ニ各方面カラ希望スル者ガアリ、反対スル者モアリマシテ、思想上ニ及ス影響ト云ヒ、或ハ將來ノ財政上ノ立場ト云ヒ、色々研究致シマシタ結果、アノ特別賜金五千圓ト云フヤウナコトハ取止ニ致シマシタコトハ、是モウ前田サン御承知ノ通リデアリマス、ハモウ前田男爵ガ仰セニ此ノ戰死者ニ對スル賜金、賞與、恩給等ヲ御覽下サイマシテ、先程前田男爵ガ仰セニ別賜金ヲ下級者ニ増額サレタラ如何カト存ズルノデアリマス、ソレハ陸軍ノ省令ヲ以テアレハ出サレテ居リマスルカラ、省令ヲ改正サレ、バ宜イ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、二三日分ノ戰費ヲ使ツタナラバ、相當ノ下級者ニ増額スルコトハ出來ルト思フ、上ノ方ノ人ヲ減ジテ下ノ方ヲ上ゲルト云フコトハ、既ニ給與サレタ以上ハ、サウ云フコトハ出來ヌト思フノデアリマスカラ、下級者ヲ増額スルト云フ御考ハナカラウカ、此ノ點ヲ御伺シタインデアリマス

○政府委員(加藤久米四郎君) 前田男爵ノ御質問ニナリマシタコトハ、陸軍省ニ於テモ非常ニ必要ナリトシテ研究サレタノデアリマス、其ノ増加ノ率及ビ増加スペキ金額ニ付テ相當熱心ニ研究サレマシタ、ソレハ先程法制局長官ノ申シマシタ特別賜金五千

シテ大藏省ノ意見モアリ、旁致シマシテ、先ヅ最下級八割ノ増加ト云フコトニ満足セザルヲ得ナカツタノデアリマス、事情ガ許スコトナラバ、陸軍省ト致シマシテハ今ノヤウナ金額ヨリモ、モウ少し増額シテ貰ヒタコト云フ氣持ヲ持ツテ居リマスケレドモ、出来上リマシタ現在ニ於テハ之ニ満足セザルヲ得ナイノデアリマシテ、是レ以上私ノ方……陸軍省ト致シマシテハ申上ゲルコトモ不可能デアリマス、併シ此ノ戰死者ニ對スル總額ハ約二千六百圓ト云フコトニ大體上等兵ヲ基準ト致シマスト、是ダケノ金額ハアル譯デアリマス、之ヲ過去ニ遡ツテ見マスト、日清役ニハ百八十圓、日露役ニハ六百九十三圓、日獨役ニハ七百四圓、ソレカラ滿洲事變、今回ハ大體二千六百圓位ト云フヤウナ工合デ、相當ニ死者ニ對スル給與ト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、サウシテ只今仰セニナリマシタ特別賜金ノウニ戰地ニ參ツテ、サウシテ戰場ノ露ト消エタ人々ノ其ノ心情ト其ノ遺族ノ氣持ヲ察シテ見マスト、金錢デ換價スルコトノ出來ナリイノデアリマス、ソレハ實際私共ノヤヘナイノデアリマスカラ、下ノ方ノ兵卒ノ所ト云フヤウナ所ニ増額サレルト云フコトヲ私ハ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラモ何様ニモ御變更ガ出來ルノデアリマスカラ、出來マシタナラバ、下ノ方ノ兵卒ノ所ト云フヤウナ所ニ増額サレルト云フコトヲ私ハ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラモウツ此ノ恩給法ノ改正ノ第六十五條ノ一項ニ但書ガ加ヘラレマシテ、此ノ但書ニ五年以内ニ退職セヌ場合ガ書イテアリマシテ、御尤ナ改正ト思フノデアリマスガ、五年ト云フコトヲ定メラレタ何カ根據ハアルノデアリマスカ、何カ其ノ根據ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレニ關聯シマシテ、此ノ傷痍疾病ニ罹ツテ居ル所ノ現役ノリマスカラ、此ノ大キナ數ノ者ニ給與スペキモノヲ考ヘマスト云フト、財政上ノコトモ

ス、大キナ軍費カラ考ヘマスレバ、一小部分ニ過ギナイヤウデアリマスケレドモ、ソレハ軍ノ方デ言フコトデアリマシテ、ドウモ一國ノ財政ノ上カラ考ヘマスト、先ヅ此ノ程度デ満足セザルヲ得ナイト云フコトデ、趣旨ニ對シマシテハ誠ニ私共感謝ニ堪ヘマセヌ

○男爵前田勇君 私ノ御尋シタインハ、特御覽下サイマシテ、先程前田男爵ガ仰セニ不可能デアリマス、併シ此ノ戰死者ニ對スル總額ハ少額デアルト云フ前田男爵ノ御意見ニ對シマシテハ誠ニ私共感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレハ實際私共ノヤヘナインデアリマスカラ、下ノ方ノ兵卒ノ所ト云フヤウナ所ニ増額サレルト云フコトヲ私ハ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラモ何様ニモ御變更ガ出來ルノデアリマスカラ、出來マシタナラバ、下ノ方ノ兵卒ノ所ト云フヤウナ所ニ増額サレルト云フコトヲ私ハ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラモウツ此ノ恩給法ノ改正ノ第六十五條ノ一項ニ但書ガ加ヘラレマシテ、此ノ但書ニ五年以内ニ退職セヌ場合ガ書イテアリマシテ、御尤ナ改正ト思フノデアリマスガ、五年ト云フコトヲ定メラレタ何カ根據ハアルノデアリマスカ、何カ其ノ根據ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレニ關聯シマシテ、此ノ傷痍疾病ニ罹ツテ居ル所ノ現役ノリマスカラ、此ノ大キナ數ノ者ニ給與スペキモノヲ考ヘマスト云フト、財政上ノコトモ期ニナツテ除隊サレタ者ハ仕方ガアリマセス

ヌガ、成ルベク此ノ現役ノ將校、下士以下ノ者ハ色々ノ職業ヲ軍隊内ニ御見付ケニナツタナラバ、右ノ手ガナイ位デモ仕事が出来ルト云フヤウナ用務ガアルグラウト思ヒマス、指ガ一本ナイトカ、右ノ指ガ皆ナクナツタト云フヤウナ者デモ何カ外ニ軍隊ニアリマス、指ガ一本ナイトカ、右ノ指ガ皆ナクナツタト云フヤウナ者デモ何カ外ニ軍隊ニ於ケル用務ガアリハセヌカト思ヒマス、是ハ陸海軍トモ同様デゴザイマスガ、ソレデアリマスカラシテ、成ルベク軍部ニ於テハ、斯ウ云フ負傷ヲシタ者ヲ直グ退職セシメテシマヘバ、世ノ中ニ出テ就職ニ困ル、出來ルダケ軍部内ノ仕事ヲ見付ケテ、ソレヲ矢張リ現職ノ儘デ置クト云フ風ノ御方針ヲ御採リニナツタラドウカト實ハ私考ヘタノデアリマス、若シモサウ云フ御方針ヲ御採リニナツテ、現職ニ居リマス者ガ又何カ戦争ノ場合ニ、戦鬪ニハ立チ得マセヌトシテモ、後方ノ色々ナ勤務ニ從事スルコトガ出來ルダラウト考ヘルノデアリマス、厚生省其ノ他ノ民間ノ色々ナ團體ガ傷痍軍人ニ對スル職業再教育トカ色々ナコトヲ考ヘテ居リマスケレドモ、軍部ニ於テハ成ルベク軍部デ使ハレル餘地ノアルダケハ軍部ノ者ヲ其ノ儘御使ヒニナツタ方ガ宜クハナイカト云フコトヲ實ハ考ヘルノデアリマス、其ノ邊ニシタ場合ニ、何等ノ制限モアリマセヌノデ、對シマスル此ノ五年ノ根據ト軍部ノ御意見

ヌガ、成ルベク此ノ現役ノ將校、下士以下

ヲツ伺ヒタイト思ヒマス

十五年、二十年或ハ三十年ト云ツタヤウナ長

イノハ、增加恩給ヲ貰ヒマス疾病ノ程度ノ

ナツタナラバ、右ノ手ガナイ位デモ仕事が出来ルト云フヤウナ用務ガアルグラウト思ヒマス、指ガ一本ナイトカ、右ノ指ガ皆ナクナツタト云フヤウナ者デモ何カ外ニ軍隊ニ

在隊中ニ御說ノヤウニ職業ノ豫備教育ト申瘞軍人ハ、兵役免除ニナラナイ内ニ、之ヲ

御質問ニ相成リマシタ極メテ輕イ程度ノ傷モ退職スル時ニハ退職當時ニ於ケル階等ノ

増加恩給ヲ受ケルト云フヤウナ矛盾ヲ防ギマス爲ニ、此ノ但書ヲ加ヘタノデアリマスガ、是モ見方ニ依リマシテ、ドノ程度迄見

シマスカ、ソレハ現在具體的ニ研究致シマシテ、ヤルコトニ大體内定致シテ居リマス、サウデゴザイマセヌト云フト、非常ニ輕イ

程度ノ負傷デゴザイマシテ、サウシテ除役ノ出來ナイ者、ソレカト云ツテ除隊後ニ於ケル其ノ人ノ心情ヲ考ヘマスト云フト、餘程

問題ダト考ヘルノデアリマス、ソコデ恩給法ノ四十六條等ニモ退職後五年内ニ不具、ルベキカト云フコトガナカヽムツカシイ

同情ニモ堪ヘマセヌシ、又獲得能力ノ補充ト云フコトモ考ヘテヤラナケレバナラヌノデアリマシテ、今具體的ニ研究致シテ居リ

マスノハ、陸軍病院ニ入院致シテ居リマスデアリマシテ、後重症ノ規定ノ如キモ五年ト云フヤウナ規定モアリマスノデ、大體五年位經ツタナラ

バ、症狀モ固定スルデアラウ、其ノ期間ヲ限界トシテ、其ノ當時ニ於ケル階等ヲ押ヘルト云フヤウナ、罹病又ハ傷痍ヲ受ケテ後ニ直チニ退職スル者トノ權衡上、相當ナモノダト云フノデ、五年ト定メタノデアリマス

ス

○政府委員(高木三郎君) 前段ノ御尋ニナス

○男爵前田勇君 大體分リマシタヤウデゴザイマスガ、今ノ傷痍、疾病ノ爲ニ、現役ハ別段理論的ノ根據ハアル譯デハナイノ

ス

云フ期間ヲ切リマシタ根據ニ付キマシテ居リマスカラ、御說ノヤウニ實行スルコトニナラウト思ヒマス

シテ置キマス、ソレカラモウーツ御尋シタイノハ、增加恩給ヲ貰ヒマス疾病ノ程度ノ重イ者、此ノ重イ者ハ獨身者デアリマスト云フト、妻帶ニ非常ナル支障ヲ生ジハセヌカト考ヘルノデアリマス、現在ノ女子ノ惡口ヲ言フテハ濟ミマセヌガ、打算的ニ犠牲的精神ノ乏シト云フヤウニ、サウ云フ風ニナツタヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、サウシマスルト云フト、重症ノ者ハ間モナク又死亡シハセヌカト云フ心配ガアル、犠牲的精神ガナイカラシテ、自分デ嫁ニ行ツテ看護シテモト云フヤウナ考ガ起ラズニ、增加恩給ヲ澤山貰ヘルカラ、ソレガ目的デ行ツタ處ガ、ソレガ死ンデシマッタ、後扶助料ハ、增加恩給ヲ受ケル者ハ重症者モ輕症者モ同様ノ扶助料デアリマス、ソコデ此ノ重症者ニ對スル結婚問題ト云フヤウナコトヲ考ヘマスト云フト、扶助料ガ同額デアルト云フコトハ、衆議院ノ委員會ニ於ケル恩給局長ノ御説明デ能ク分リマスケレドモ、何トカソコニ重症者ハ或年限ヲ設ケテ、是ダケハ暫ク給與スルト云フヤウナ方法デモ御設ケニラナケレバ、獨身者ノ将来ニ非常ニ精神的ニ苦痛ヲ與ヘシナイカ、現在入院シテ居リマス傷病兵アタリガモウ段々病

氣ガ癒エテ來マシテ、自分ハ不具ニナツテ

シマッタ、將來職業ヲドウスルダラウ、自分ノ一身ヲ見廻ツテ吳レル結婚問題ニ付テ、心中非常ニ惱シニシテ居ルヤウニ私ハ前回傷病兵慰問ニ行キマシテ感ジマシタノデアリマス、サウ云フコトヲ感ジマスト云フト、重症者デモ輕症者デモ同一ノ扶助料ニナル、サウスルト、重症者ニ對シテ懲ラナイヤウナコトガ起ツテ來ヤセヌカ、何カソコニ重症者ニ對シテ或年限デモ付シテ、多少デモ保護サレルト云フヤウナ方法ヲ御執リニナツタラ、ドウカト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、其ノ邊モ御考ガアレバ一ツ……。

恩給法改正前ニ於ケル恩給ノ制度カラ申シ
マスト、扶助料ハ元來夫ガ在職中結婚シタ
者、或ハ戸籍ニ登録シタ者デナケレバ給與
サレナイト云フヤウナコトノ規定ガアッタ
ノデアリマシテ、是ハ結局内助ノ功ト云フ
ヤウナコトヲ或程度ニ考ヘテ居ツタモノト
考ヘラレルノデス、私共モ其ノ點ニ付テハ
其ノ制度モ一つノ理由ガアル制度デヤナイ
カト云フ風ニ考ヘマス、其ノ當時ノ一部ノ

婚姻關係ト同様ノ事情ニ入リタリト認メラル
遺族ニ付テハ裁定官廳ハ恩給審査會ニ
諸問ノ上其ノ者ノ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ
失ハシムルコトヲ得」ト云フ規定ガアル、
是モ實ハ後カラ出來マシタ規定デアリマシ
テ、寡婦ニナリマシタ者ガ扶助料ヲ失フコ
トヲ處レマシテ、内縁關係ニ入ッテ居ル、其
ノ内縁關係ニ入ッテ居ルコトガ又或場合ニ
於テハ事情非常ニ諒トスベキ場合モ多イノ
デゴザイマスケレドモ、場合ニ依リマシテ、
是亦弊害ガアルノデアリマシテ、寡婦ガ
若イ内縁ノ夫ヲ持ツテ其ノ他ノ遺族ヲ顧ミ
ナイト云フヤウナ例モ屢々アル、サウ云フ
ヤウナコトヲ考ヘマシテ、八十條ノ二項ヲ
後カラ加ヘタノデゴザイマスケレドモ、東
角打算的ニ結婚致シマシタヤウナ場合ニ於
テ、サウ云フ弊ガ一層多イデヤナイカト云
フ風ニ考ヘラレル、從ツテ増加恩給受給者ガ
死ンダ場合ニ、減給サレル、遺族ノ扶助料ヲ
ガ少イト云フコトガ屢々問題デゴザイマスケ
レドモ、其ノ爲ニ現在デモ七十五條ノ二項
間三割加給ト云フ制度ヲ認メタノデアリマ
ス、今回ノ改正ニ於テハ、當初ニ於テハ此
ノ五箇年間三割加給ヲ經常化スルト云フコ

トヲ最初ニ考ヘテ居ツタノデアリマス、其ノ後ニ其ノ問題ヲ更ニ變ヘマシテ、提案致シタヤウナ趣旨ニナツタノデアリマスケレドモ、是デモ實際ノ數額カラ申シマスト、増加恩給受給者カラ轉給サレル場合ノ扶助料ノ増加率ガ一番高クナツテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ只今申上ゲマシタヤウナ事由カラ、ドウウモ増加恩給受給ノ高イ者ノ遺族ニ對シテ、特ニ扶助料ヲ多クスルト云フコトニ付テノ作弊モ一面考ヘテ見ナケレバナラナイノデハナイカト云フコトカラ致シマシテ、今回事ハ其ノ點ニ觸レナカツタノデアリマス、併シ問題トシテハ尙研究スル必要ガアルト考ヘマヌガラ尙此ノ點ニ付キマシテハ、將來ノ問題トシテハ尙研究スル必要ガアルト考ヘマヌス、先程モ申上ゲマシタヤウニ恩給制度ノ根本ノ研究、是モ是非必要タト考ヘマスノデ、全般的ニ恩給當局トシテハ尙將來モ研究ヲ繼續致シタイト考ヘルノデアリマス

○男爵前田勇君　先刻恩給局長カラ御託ガアリマシタ、附則ノ一番終ヒノ北海道森林研究ノ監守ノコトデアリマスガ、御託ノヤウニ譲デアリマス、是ハ今ノ第九十條デアリマスガ、恩給法ノ何ニ依ツテドウシテモ施行前ニ退官ハイカヌノデアリマス、此ノ施行前ニ

ヲシタト云フ者ガ七八名アルラシイノデア
リマス、現在ハ四五名デ、同ジ森林監守デ
一方ハ在職シテ居タカラ恩給ヲ貰フ、一方
ハ恩給法施行前ニ退職シタカラ恩給ガ貰ヘ
ナイ、此ノ森林監守ノ恩給ノコトハ茲ニ初
メテ又新タニ追加サレテ恩給ヲ給スルト云
フコトデアリマスカ、此ノ際ハ其ノ點ハ御
取止メガドウシテモ出來ヌモノデアリマス
カ、此ノ點ヲ一ツ……

マス、其ノ後警部補ガ更ニ警部ニ昇進致シテ一般文官ト同様ノ恩給規定ノ適用ヲ受ケテ居リマス、是ハナゼ警部補ト云フヤウナ者ヲ水陸兩棲ニシタカト申シマスト、巡査看守ノ退隱料法ノ方ニ依ル方ガ有利ナンデアリマス、ソレデアリマスカラシテ恩給法制定ノ時ニ此ノ規定ヲ置キマシテ、遡及シ

○内田重成君 私ハ是デ質問ヲ中止致シ
マス

ノデスガ、是ハ先程御説明ガアッタヤウゴ
アリマスガ、恩給金庫法ノ二十五條ノ但書
ヲ衆議院デ修正シテ……削除ニナッテ居ル
是ハ先程ノ政府ノ御答デハ、斯ウ削除サ

アリマシタ方ガ宜カラウト云フヤウナ趣旨
ニ於テ立案ヲ致シタノデアリマスガ、又一
面衆議院ノ方ニ於テ心配致シマシタコトヘ、
此ノ恩給權ト云フモノガ一身ニ專屬セル
權利デアルト云フ建前カラ申シマスルト、
此ノ但書ノアルト云フコトハ無理デアルガ
爲ニ、恩給金庫ガ出來タ爲ニ、從來ヤラナ
カツタコト迄モ手ヲ出シテヤルノダ、サウ云

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御尋ノ點
ハ先程申上ゲマシタヤウニ、恩給法九十條

ハ從前ノ儘ニスルト云フコトハ、警察官職員ト云フ立場カラ考ヘルト、大多數ノ者ガ

ヤウニ考へマスガ、サウ考へテ宜シイノニ
スカ

亦實際上ノ運營ニ於テ宜シクナイコトニアリマスカラ、若シ衆議院ノ心配ガサウ云フ

ノ規定ニ依リマシテ、恩給法ハ原則トシテ
過去ニ遡及シナイ、唯恩給法施行當時在職
スル者ニ付テハ、其ノ繼續スル在職ニ限り
恩給法ノ規定ヲ適用スルト云フコトヲ更ニ
定メタノデアリマス、實ハ此ノ規定ハ有利
ニ働く場合ノ方ガ相當多イノデアリマス、
森林監守ノ場合ハ是ハ數ハ極ク僅カデ何レ
デモ宜イヤウニ考ヘラレマスガ、巡查看守
退隱料法ニ付テ同様ノ問題ガ起ッテ居リマ
ス、御承知ノ通リ警察官職員ノ前身デアリ
マス巡查看守退隱料法ニ依リマスト、巡查
看守カラ警部補ニ任官シマシタ場合ニハ、
警部補ハ文官デアルニ拘ラズ判任待遇職員
デアリマス、巡查看守ト通算サレマシテ、
巡查看守退隱料法ニ依ル待遇ヲ受ケテ居リ

利益ニナル方ヲ採ツタ、處ガ偶、中斷シテ居リ
マスモノカラ考ヘマスト、通算サレタ方ガ
利益ニナルト云フコトデアリマシテ、ソレ
ハ數カラ言ヘバ少數ナノデスガ、ソレノ救
濟ヲシテ吳レト云フコトガ、近來請願ニ出
テ來タノデアリマスガ、此ノ中斷サレタモ
ノヲ救濟スルト云フコトニナリマスト、獨
リ森林監守、警察官ノ職員バカリデアリマ
セヌデ、他ニモ是等ノ事例ニ當ル斷續的ニ
任官シテ居リマス者ノ例ガ相當數アルノデ
アリマシテ、ソコ迄及ス、ソコ迄遡及セシ
メルト云フコトハ實ハ困難デアリマス、ソ
レデ只今改正シタイト考ヘテ居リマスノハ
九十條ノ原則ノ範圍内ニ於テ、引續キ在職
ト云フコトデ限界ヲ定メタイト云フ風ニ考

○政府委員(船田中君) 先程大河内子爵の御質問がアリマシタ時ニ、私カラ御答申上ゲマシタノハ、此ノ二十五條ノ但書ニ置キマシタノハ、先程委員長ノ御心配ニラレマシタヤウニ、老年者或ハ病弱者等付キマシテハ、ナカニ普通ノ金融ハヤリタガラス、處ガ恩給金庫ガ出來マス以上ニシテハ、サウ云フ者ニコソ特別ニ考ヘテ行ナケレバナラスト云フヤウナコトニナリコスノデ、サウ云フ場合ニハ自分ガ死ンダヌラ、其ノ遺族ノ受クベキ恩給ナリ、年金ナリト云フモノヲ引括メテ、相當纏ツタ金ヲ借リタイト云フ場合モ、實際ニ於テ起ツテ事ルト思フノデアリマス、ソコデサウ云フ者ノ實際ノ必要ニ應ズル爲ニハ、此ノ但書が

トシテ此ノ但書ガ削ラレタカラト云ツデ、致命的ノ修正トハ考ヘナイ、サウ云フ場合ニ於キマシテハニツノ、契約ヲ分ケテ實際ニ於テハヤツテ行クコトモ出来ヨウカト存ジマスカラ、ソコデ先程大河内子爵ニ御答ヘ申上ゲマシタ時ニ、其ノ點ハ修正ニナラレマシテモ、致命的ノコトトハ考ヘテ居リマヌスト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス○内田重成君　只今御話ノ契約ヲ分ケルト云フ意味、其ノ意味ガ明瞭致シマセヌガ、未ダ恩給權ノ發生セザル遺族ノ分ヲ、條件附ニデモ矢張リ貸シ得ルト云フ御見込ガアルノデアリマセウカ

リマセヌ、私ノ言ヒ方ガ悪カツタノデアリマスガ、勿論此ノ別々ニ考ヘテ行カナケレバナラヌト存ジマス、從ッテ最初ノ契約ヲシテ行此ノ但書ノナイ本文ニ付テノ契約ヲシテ行ク以外ニナカラウト存ジマス、法律上ニ於テハ其ノ間ニ截然區別セラルベキモノト考ヘテ居リマス

○内田重成君 サウ致シマスト、老年者ノ擔保借入申込ハ遺族ノ受クベキ恩給又ハ年金ヲ全ク無計算ニ置イタ、自分ダケノモノニ對スル借入ノ申込ダケニ止マルノデアリマスルガ、サウ云フ場合ニハ其ノ老年者ノ如キモノハ保険ニ掛ルト云フヤウナコトモ出來ナイノデ、サウ云フ保険契約モ出來ナイヤウナ者デアリマスルガ、之ニ對スル貸付ノ歩合ト云フモノハ、詰リ普通老年者ニ非ザル者ト、所謂保険能力者ト同一歩合デ御取扱ノ出來ル御見込デアリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 貸付ノ最高限度ニ付キマシテハ、マダ確實ナ計數ヲ得テ居リマセヌノデゴザイマスガ、大體ノ計畫ハ平均三年ト云フコトニナツテ居リマスノデ、三年限度ニ於テ、三年以内ニ於テ貸付ヲ致特別ノ事情アル場合ハ五年以内ノ貸付ガ出来ルト云フコトニナツテ居リマスノデ、例ヘ

バ御話ノヤウナ場合ニ於テ、非常ナ老年者
デアルト云フヤウナコトデアリマスレバ、
三年以内ノ普通ノ貸付ハ出來テモ、五年ト
云フヤウナ特別ナ貸付ハ出來ナイト云フヤ
ウナコトガアリ得ルコトト思ヒマス、サウ
云フ場合ニ於テ二十五條ノ但書ガアリマス
レバ、遺族ノ分ヲ籠メテ、千圓以上ニ貸付

スルカハ未ダ分ラナイ、デ其ノ分ラナイ人々ノ中デ、先ヅ先順位ニ在ル者、其ノ先順位ニ在ル者ガ假ニ之ヲ承諾シタカラト申シテ、其ノ後順位ノ者ガソレニ羈束サル、ト云フヤウナコトハナイ譯デアラウト思ハル、ソレハ此ノ第二項デソレヲ讀ミ得ルヨトニナリマスカトモ考ヘルノデアリマス、如何デス

○政府委員(高木三郎君) 遺族ノ扶助料ニ付テノ權利ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ、私共ハ遺族ノ扶助料權ト云モノハ遺族全般ガ一ツノ權限ヲ持ッテ居

所ニ依リマスト、遺族扶助料ハ恩給法上ノ
遺族ガ共通ニ生活ノ資源トシテ給セラルベ
キモノダト云フ風ニ考ヘテ居リマス
○内田重成君 或ハサウ云フコトデハナイ
カト云フコトヲ疑ツタモノデスカラ、御伺ヲ
シタノデアリマスガ、遺族ノ共同物デモア
ルト云フ考カラ言ヒマシタ場合ニハ、現存
スル總テノ遺族ノ承諾ヲ要スルト云フコト
ニナル、然ルニソレガ後日ニ於テ胎兒ガ生
レタ、又ハ後日即チ恩給權發生ノ當時ニ戸
籍内ニ入ッテ來タ遺族ガアルト云フヤウナ
モノハ、此ノ契約ノ成立後ニ遺族トナッタ者
デアル、サウ云フ者ハ同一戸籍内ニ入ッタ者
ニハ、サウ云フ者ハ署名捺印ヲシテ居ラヌ、
之ニ直接承諾ヲシテ居ラヌ、一人デモ其ノ
共同權内ノ者ガ缺ケテ居ル場合ニハ、此ノ
契約ハ效力ハ無イモノト云フ議論ニナリハ
シマスマイカト云フコトヲ御尋シタノデア
リマス
○政府委員(高木三郎君) 此ノ點ハ特約ヲ
以テヤルノデゴザイマスカラ、其ノ當時ニ
於ケル遺族ガ全體トシテ承諾ヲシタト云フ
コトニナリマスレバ、其ノ後ニ於ケル増減
ニ依ツテ其ノ特約ガ變更サレタモノトハ考
ヘナイ、契約成立當時ニ於ケル遺族ト云フ
風ニ考ヘテ居リマス

○内田重成君 是ハマア但書ハ衆議院デ削
ラレテ、コ、ハマアドウ云フ風ニナリマス
カ分リマセヌガ、私ハサウ思ハヌデスケレ
ドモ、ソレハソレデ宜シウゴザイマス、モ
ウツ同ヒマスルノハ、此ノ恩給法ノ七十
五條ノ第一項デアリマスガ、此ノ扶助料年
額ノ加給ノ問題デアリマスガ、同一戸籍内
ニ扶助料ヲ受クベキ要件ヲ具フル遺族ガ三
人以上、即チ扶助料ヲ受ケル者ヲ合シテ三
人以上アル時ハ、特別ノ金額ヲ加給サレル
コトニナル、是ハ扶助料ヲ受クベキ要件タ
ル遺族ニ止マラズ、扶養義務ノアルモノヲ
合シテ三人以上ト云フコトニ、モウ少シ擴
ゲル必要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ
感ズルノデアリマス、要スルニ此ノ度新ラ
シクスウ云フ規定ヲ設ケラレタノハツ
ノ優遇法デアリマセウガ、是ハ扶養義務
ノ如何ニ依ッテ其ノ生活ノ苦樂ガ分ルノデ
アリマス、デ土臺ヲ扶助料ヲ受クベキ要件
ヲ具フル遺族ニ限ラズ、扶養義務ヲ有スル
者ト云フ點ニ土臺ヲ置クト云フコトノ方ガ、
私ガ實情ニ適スルノデヤナイカト云フコト
ヲ考ヘマスガ、斯ウ云フ風ニ制限ヲセラレ
マシタ理由ヲモウ一度伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(高木三郎君) 扶助料ニ付キマ
シテハ只今申上ゲマシタヤウニ、恩給法上

ノ遺族、之ヲ一體ト見テ扶助料ヲ支給シテ
居リマス建前カラ致シマシテ、矢張リ加給
ノ場合ニ於テモ目標ト致シマスノハ、恩給
法上ノ遺族ニ限定サルベキデヤナイグラウ
ウツノ理由ト致シマシテハ、是ハ實際問
題ニナルト思ヒマスガ、事實問題ヲ取入レ
ルコトニナリマスト、非常ニ複雜ニナリマ
シテ、恩給局ノ如キ官廳ニ於テハナカ／＼
事務上處理シ切レナイデヤナイカト云フ實
ハ心配ヲ持ツテ居リマス、實ハ此ノ家族加給
ノ此ノ程度ノ改正デアリマシテモ、現在ノ
恩給局ノ機構ノ上ニ於テハ相當苦痛ヲ感ジ
テ居リマス、家族ノ一員ガ死亡スルトカ、
或ハ離籍スルトカ云フコトニ依ッテ、一々扶助
料ノ金額ガ變ルコトニナリマシテ、事務上
ノ手數ト云フモノハ非常ナモノダト考ヘマ
ス、之ヲ更ニ恩給法ノ遺族以外ノ家族ニ迄
及スト云フコトニナリマスト、實際ノ取扱
上ニ於テモ非常ナ支障ヲ來スノデヤナカラ
ウカ、結局理論上、實際上カラ見マシテ、家
族加給ヲ受クベキ遺族ノ範圍ハ、恩給法上ノ
遺族ノ範圍ト一致セシムルコトガ相當デア
ラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマス
○内田重成君 御趣意ハ分リマシタガ、此
ノ項ノ冒頭ニ、前項第一號乃至第四號トア

ル普通恩給ヲ給セラレルモノニ付テノ適用
ガ、是ガナインデアリマス、其ノ實情ニ於
キマシテハ普通恩給ヲ受クルモノニ付テモ
法上ノ遺族ニ限定サルベキデヤナイスル
カト云フコトガ一ツノ理由デアリマス、モ
ウツノ理由ト致シマシテハ、是ハ實際問
題ニナルト思ヒマスガ、事實問題ヲ取入レ
ルコトニナリマスト、非常ニ複雜ニナリマ
シテ、恩給局ノ如キ官廳ニ於テハナカ／＼
事務上處理シ切レナイデヤナイカト云フ實
ハ心配ヲ持ツテ居リマス、實ハ此ノ家族加給
ト云フノガ宜シイデハナイカト云フコトヲ
バ、家族ノ數ニ依ッテ多少ノ斟酌ヲシテヤル
シテ、恩給局ノ如キ官廳ニ於テハナカ／＼
事務上處理シ切レナイデヤナイカト云フ實
ハ心配ヲ持ツテ居リマス、實ハ此ノ家族加給
ノ此ノ程度ノ改正デアリマシテモ、現在ノ
恩給局ノ機構ノ上ニ於テハ相當苦痛ヲ感ジ
テ居リマス、家族ノ一員ガ死亡スルトカ、
或ハ離籍スルトカ云フコトニ依ッテ、一々扶助
料ノ金額ガ變ルコトニナリマシテ、事務上
ノ手數ト云フモノハ非常ナモノダト考ヘマ
ス、之ヲ更ニ恩給法ノ遺族以外ノ家族ニ迄
及スト云フコトニナリマスト、實際ノ取扱
上ニ於テモ非常ナ支障ヲ來スノデヤナカラ
ウカ、結局理論上、實際上カラ見マシテ、家
族加給ヲ受クベキ遺族ノ範圍ハ、恩給法上ノ
遺族ノ範圍ト一致セシムルコトガ相當デア
ラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマス
○内田重成君 私ハモウ一ツ御尋ネシタイ、
恩給額ガ年々増加シ、既ニ二億圓以上ノ豫
算ニ相成ツテ居ル、デ將來モ是ハ急速ナル、

率ノ急速ナル増加ヲ抑制スル方策ニ付テ、
政府ハドウ云フ一體御研究ニ相成ツテ居ル
カ、是ハ自然ノ成行ニ任セテ、國家ノ進展
上成行キニ任スヨリ他ニ仕方ガナイモノト
シテ、此ノ點ハ御見送リニ相成ツテ居ルカ、
又ハ之ニ對シテ所謂恩給亡國論ナドト云フ
始終意見ヲ聞キマス時代ニ、何等カ之ガ對
策ヲ御研究ニ相成ツテ居ルノデハナイカト
云フコトヲ感ズルノデアリマス、其ノ御研
究振リヲ一ツ承ツテ置ケバ大ナル参考ニナ
スカ

○政府委員(高木三郎君) 今回ノ改正ハ主
トシテ事變ノ犠牲者ヲ目標ト致シテ居ルノ
デス、從ツテ增加恩給竝ニ戰死者、普通公務
死者增加恩給受給者、遺族ノミニ關スル問
題ヲ扱ツテ居リマシテ、一般ノ普通恩給竝ニ
普通ノ遺族扶助料ニハ及シテ居ラナイノデ
アリマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、普
通ノ遺族ニ對スル加給ト云フヤウナコトモ
十分研究ノ餘地ハアルト考ヘマスガ、今回
ノ改正ニハ一般ノ普通恩給、普通ノ遺族扶
助料ニハ、全然手ヲ觸レテ居ラナイノデス
トハ、確ニ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス
ガ、併シ御承知ノ通リ昭和八年ニ相當ナ改
正ヲ致シマシテ、在職年限ノ延長ヲ致シタ
バカリデアリマシテ、今又直チニ在職年限
ヲ延長スルト云フヤウナ改正ニ付テハ、政
府トシテハ今考ヘテ居ラナイノデアリマス、

殊ニ軍人、警察官、監獄職員ト云フヤウナ方々ニ付テノ恩給制度ハ、是ハ種々ノ情勢カラ見マシテ、俄カニ之ヲ根本的ノ改正ヲスルト云フコトハ、到底出來ナイコト存ジマス、併シ一面ニ於テ實際ニ國家ノ仕事ニ從事ヲ致シテ居リマスル者、公共團體ニ働イテ居ル公吏トノ權衡ヲ考ヘテ見マスルト、一般ノ文官ニ付テハ、其ノ根本的ノ制度ニ付テ再検討ヲスル必要ハ十分アルト存ジマス、例ヘバ、退職保険ノ制度ニ付テ考ヘテ見ルト云フコトモ必要デアリマセウシ、又所謂俸給生活者ニ付テノ養老年金制度ト云フヤウナコトニ付テモ考ヘテ見ル必要ガアルト存ジマス、是ハ恐ラク將來厚生省ノ保険院ガ擴充サレマシテ、殊ニ、簡易保険ノ限度ノ引上、或ハ少額保険ノ官營制度ト云フヤウナモノガ確立スルコトニナリマスレバ、其ノ仕事ノ一ツト致シマシテ、退職保険制度ト云フヤウナコトガ十分考ヘ得ラレルト存ジマス、政府トシテ今具體的ニソコ迄調査研究ガ進ンデ居ル譯デアリマニナリマシタヤウニ、此ノ儘ニ放ツテ置イテハイケナイ、何トカ根本的改革ノコトヲ考ヘテ見ル必要ガアルト存ジマシテ、只今ノ所謂社會保險ノ問題ト相關聯ヲ致シマシ

テ、今後研究ヲ十分進メテ行キタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○深井英五君 今ノ御質問ニ關聯シテ一點

同ヒマスガ、今ノ御説明ノ中ニ、此ノ法律ノ改正ノ結果、相當ノ恩給支給額ノ増加ヲ生ズルダラウト言ハレマシタガ、無論當然ノコトデアラウト思ヒマスガ、來年ドウナル再來年ドウナルト云フコトノ、的確ナル、

度ニ付テ再検討ヲスル必要ハ十分アルト存ジマス、例ヘバ、退職保険ノ制度ニ付テ考ヘテ見ルト云フコトモ必要デアリマセウシ、又所謂俸給生活者ニ付テノ養老年金制度ト云フヤウナコトニ付テモ考ヘテ見ル必要ガアルト存ジマス、是ハ恐ラク將來厚生省ノ保険院ガ擴充サレマシテ、殊ニ、簡易保険ノ限度ノ引上、或ハ少額保険ノ官營制度ト云フヤウナモノガ確立スルコトニナリマスレバ、其ノ仕事ノ一ツト致シマシテ、退職保険制度ト云フヤウナコトガ十分考ヘ得ラレルト存ジマス、政府トシテ今具體的ニソコ迄調査研究ガ進ンデ居ル譯デアリマニナリマシタヤウニ、此ノ儘ニ放ツテ置イテハイケナイ、何トカ根本的改革ノコトヲ考ヘテ見ル必要ガアルト存ジマシテ、只今ノ所謂社會保險ノ問題ト相關聯ヲ致シマシ

三萬五千ヲ含ンデ、今回ノ恩給法改正ニ依リ、平年度ノ經常費ノ増加ガ約一千五百萬

圓ト云フ計算デアリマス

○子爵大河内輝耕君 恩給法ノ改正デ色々

何モアルヤウデアリマスガ、御説明ノ點デ

分リマシタガ、此ノ前是ハ問題ニナッタノデスガ、一定ノ所得ノアル者ハ減スト云フコト

ハ、是ハ成ル程一つノ理由ノナイコトモナ

イノデスガ、サウ云フコトヲ言ヘバ、役人デ

モ金ノアル者ハ減シテモ宜イト云フコトニ

ナル、ソレヲ何故恩給ダケ減スノカト云フコトヲ同ツタナラバ、役人ヲサウ云フ風ニ減

スト云フト、ソレナラ金持ガ、役人ノハ減

ラシテモ宜イカラト云フノデ、役人ハ金持

バカリニナルカラト云フ御答辯デ、譯ガ分

ガ大體今日迄ノ實情カラ言ヒマスト云フ

ト、約二萬デゴザイマス、二萬ヲ越シテ居

ルカモ知レマセヌ、ソレヲ先ヅ二萬人ト見

カ、恩給ノ性質ト容レナイヤウニ思フノデ、

マシテ、今度ノ改正ニ依ツテ平年度約一千五

百萬圓程度ノ經常費ノ增加トナル計算デゴ

ザイマス

○深井英五君 今ノハ戰死者ダケノヤウデ

アリマスガ、モウ少シ全般ニ付テノ御調ハ

アリマセウカ

○政府委員(船田中君) 只今申上ダマシタ

ガ大分アリマシテ、高額受給者ニシテ、所

謂特殊會社ノ重役ニナッテ、又高給ヲ食ムト云フヤウナ者ガ非常ニ目ニ立ツノデアリマス、サウ云フ者ニ對シテ或程度ノ高給ヲ貴

フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、先程御示シノ金持ニ對シテハ給料ヲ幾ラカ減シ

テモ宜イデヤナイカト云フ風ナ觀念トハ、

餘程違フカト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 チヨット御尋ノ仕方

ガ悪カツタカ知レマセヌガ、一定ノ所得ヲ受

ケテ居ル者ハ恩給ガ割引サレルコトニナ

ル、其ノコトヲ申シタノデ、恩給ト云フモ

ノハ、其ノ性質ガ將來ノ生活ヲ保障スルモ

ノデアリ、俸給モ其ノ時ノ政府委員ノ御説

明デハ、勞務ニ對スル報酬デヤナイ、相當ノ

生活ヲサセヨウト云フ方カラ來テ居ルノデ

アル、從ツテ個人ノ外ノ收入トハ全然性質ノ

違フモノデアルコトハ、ドッヂモ同ジダト云

フコトデアッタ、話ガ混雜スルトイケマセヌ

カラ色々申シマセヌ、今ハ恩給ダケニ限り

マスガ、所得ノ多イ者ニ對シテハ恩給ヲ減

スト云フノハ、ドウモ恩給ノ性質トハ容レ

ナイヤウナ風ニ思ハレマスガ、ソコハサウ

云フ議論ガアルデスガ、ソレヲ同ツテ見タイ

ト思ヒマス

○政府委員(船田中君) サウ云フ御議論モ

シテハ高額恩給受給者ニ付テハ、先程モ申上
ゲマシタヤウニ、恩給ガ元來最低ノ生活ヲ
保障スルト云フヤウナ趣旨ガ多分ニ含マレ
テ居リマスルノデ、其ノ高額受恩給者ガ更
ニヨリ多イ獲得能力ヲ持ツテ居ルト云フコ
トニナリマスレバ、恩給額ノ一部ヲ減ラス
ト云フコトガ合理的デハナイカト存ジマス
○子爵大河内輝耕君 ソコデ今ノ疑問ガ
起ツテ來ルノデスガ、ソレナラバ俸給モ減シ
テモ宜イ、俸給ニ對シテハ金持モ貧乏人モ
同ジヤウニヤツテ居ツテ、恩給ダケハ金持ヲ
減ス、是ハ不徹底デハナイカ、俸給モ生活
ヲ保障スル爲ニヤルノデ、働くカラヤルノ
デハナイ、ソコガ兩方矛盾シタヤウナ觀ガ
アルガドウカト云フノデス、言葉ヲ換へテ
言ヘバ俸給モ減シタラ宜イ、片方ヲ減シタ
ラ俸給モ減スベキデハナイカ

○政府委員(船田中君) 官吏ノ俸給ハ生活
費ノ保障ト云フコトモアリマスガ、他ノ政
府委員ガドウ云フ御答辯ヲ申上ゲタカ、私
ト存ジマスノデ、其ノ點ハ恩給トハ稍々趣ヲ
異ニシテ居ルノデハナイカト存ジマス

モ、今前提ガ變ツテ來タノダカラ、是デハ質レカラ次ニ斯ウ云フコトモ問題ニナツクノモノハ相當ノ年齢迄ハ貰ハナクモ宜クハナイカ、相當ナ年齢ニ達シテカラ初メテ恩給ヲ取ルト云フコトニシタラ、恩給ノ殖エ方モ無カラウ、無論今ノヤウニ手モ足モ動カナクナツク人ハ別デスガ、サウデナイ、立派ニ働ケル人ハソレデ宜イト思ヒマスガ、サウ云フ議論モアルヤウデスガ、ソコハドウ云フ御考デセウ

○政府委員(船田中君) 非常ニ若イ人デ恩給ヲ貰フト云フモノニ對シテハ、現行法ニ依ツテモ御承知ノ通り或程度停止ヲ致シテ居ルノデアリマス、將來ト雖モ矢張リ同ジヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 モウ少シ此處ハ御考ヘニナツテ、例ヘバ官吏ノ定年制ト云フヤウナモノヲ定メテ、サウシテ其ノ定年制ニ達スル迄ハヤラヌ、其ノ代リ役所ノ方デモマア著シク惡イモノデナケレバ其ノ位ノ程度ハ使ツテヤルト云フヤウニシタラ、餘程恩給モ減ルダラウト思ヒマスガ、ドウ云フモノ

○政府委員(船田中君) 只今御指摘ノヤウナ點ニ
究ヲ致シテ居リマス、御趣旨ノヤウナ點ニ
付テモ、十分研究ヲ遂ゲテ善處シテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 年齢デ停止スルト云
フノハ極ク場合ガ少イト思ヒマスガ、今ド
ン場合デゴザイマスカ、ドナタカラデモ
宜シウゴザイマス

○政府委員(高木三郎君) 恩給法ノ五十八
條ノ第一項ノ第三號デス、「之ヲ受クル者ハ
三十五歳ニ満ツル月迄ハ普通恩給ノ六分ノ
一、三十五歳以上四十歳ニ満ツル月迄ハ普
通恩給ノ八分ノ一ヲ停止ス、但シ増加恩給
又ハ傷病年金ト併給セラルル場合ニハ之ヲ
停止セス」、此ノ規定ハ元來先程カラ御尋ガ
アツクノデゴザイマスガ、私共考ヘテ居リマ
ス所ニ依リマスト、實際年齢ノ非常ニ若イ
モノデアルトカ、或ハ收入ヲ他ニ餘計有ツテ
居ルモノトカ云モノニ對シテハ恩給ヲヤ
ラナクテモ宜イデハナイカト云フ議論モ相
當出デ居リマスガ、又一面カラ考ヘマスト、
同時ニ恩給受給者ガ恩給ヲ貰ツテ、唯徒食ス
ルト云フコトモ考ヘ物デナイカ、恩給受給
者ト雖モ或程度デハ殘存能力ヲ有ツテ居ル
ノデアリマスカラ、共ノ殘存能力ヲ活動シ

ニ考ヘテ却テ宜イコトデハナカラウカ、ソレヲ餘リ極端ニ停止スルコトニナリマスレバ、國家的
恩給受給者ハ唯徒食スルト云フ結果ニマッ
テ、國家經濟ノ上カラ考ヘバ寧ロ好マシ
イコトデハナイカト云フ議論モ起ルト思ヒ
マス、ソレダカラ要スル其ノ程度ト云フ問
題ニナリマスト、ドノ程度ガ宜イカト云フ
コトハ非常ニムヅカシイコトト思ヒマスガ、
殊ニ只今申シマシタ年齢ニ依ル停止、ソレ
カラ、其ノ次ニアリママ四號ノ所謂高額所
得者ノ停止ハ、昭和八年ノ改正ノ際ニ附加
ヘラレタ規定デアリマス、此ノ前ノ方ノ年
齡ニ依ル停止ニ依シテ、一番影響ヲ受ケマス
ノハ軍人ナノデ、昭和八年ノ改正ニ依リマ
シテ、其ノ當時非常ニヤカマシカッタノハ恩
給亡國論デ、斯ウ云フ風ニドンヽ恩給ガ
殖エテ參ツカラ、將來國家ノ財政ハドウナル
デアラウカト云フコトデ、先程内田委員ノ
御質問通り心配ガ多カッタノデ、少クモ將來
或程度マデ恩給ノ増加ヲ抑止スル必要ガアマ
ルノデナイカト云フコトデ、加ヘラレマシ
タ條項ノ一つガ此ノ規定ナノデアリマス、
從來軍人、殊ニ海軍ノ軍人デハ、海軍ノ現
役ガ確カ四年デアルト思ヒマスガ、再服
役ヲ致シマスト大體加算年ノ關係上恩給年

限ニ達スルノデアリマス、サウシマスト若イ者ハ志願兵デハ二十四五位カラ恩給ガ付クト云フコトニナル、私共考ヘマス所デハ恩給制度ハ本來ノ目的カラ申シマスレバ、一體若イ者ニ小遣錢ヲヤルト云フヤウナコトハ、恩給ノ本旨デハナイノデナイカ、本當ニ齡取シタトカ、身體ノ動カヌ者ニ十分給與スルコトガ恩給制度ノ本來ノ目的デナケレバナラヌ、デ是ハ大正十二年ノ恩給正ノ際ニモ、軍部ヘ其ノコトヲ申上ゲテ大分御考慮ヲ願シタノデアリマスケレドモ、此ノ點ヲ餘リ強ク引締メマスト云フコトハ、此ノ點ヲハッキリ申上ゲテ宜イカ分リマセヌガ、有能ナ下士官ヲ得ル上ニ於テ支障ガアルト云フ御話ナノデアリマス、延イテハソレガ軍ノ機能ノ上ニ影響ヲ及スト云フヤウナ大キナ問題デアリマスノデ、其ノ當時年限制限ノコトヲ規定シナカッタノデスガ、昭和八年ノ改正ノ際ニハ、寧ロ恩給ノ遞増防止ト云フコトカラ已ムヲ得ナイカラ、此ノ程度ニ引上げヤウト云フコトデ、先ヅ此ノ程度ト云フコトニ定メタノデスガ、之ヲ若シ引上ゲルト云フコトニナリマスト、下士以下ノ軍人ハ殆ド恩給ガ附カナイト云フコトニナルノデアリマス、恩給遞増ヲ抑止スルト云フ上カラ考ヘレバ非常ニ有效ナ

方法デアリマスケレドモ、一面色々ナ政策の意味カラ考ヘマシテ、此ノ以上ニ年限ヲ延バスト云フコトハ困難デヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キ恩給制度ノ根本ヲ研究スルト云フ必要ハ痛切ニ感ゼラレ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 御答ガ、只今御研究ニ能クナルト云フコトデアリマスカラ、ソレデヤマア此ノ點ハ將來御研究ヲ願シテ置クコトニ致シテ置キマセウ、ソレデ下士ノ御話ガ出タノデ、是ハ陸軍ノ政府委員ガオイデニナルノデ、サウ云フコトヲ伺ッテ宜イカ悪イカ存ジマセヌガ、我々素人デ何ニモ存ジマセヌガ、隨分下士ノ制度ト云フモノハ今社會上ト兩立シナインノデ、アレヲヤルト云フト、後ト就職スルノニ非常ニ營後、少尉ニ任官シテ歸郷スルト云フコトニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイ成績ニ依リマスケレドモ、所要ノ人員ニモ依リマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレハ伍長若シクハ軍曹デ、ソレデ退營スルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ下士ノ補充ニハ幹部候補生ノ方デ多少補ヒガ付クコトニ本年カラナルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマスカラ、餘リ詳シク申上ゲラレマセ

方法デアリマスケレドモ、一面色々ナ政策の意味カラ考ヘマシテ、此ノ以上ニ年限ヲ延バスト云フコトハ困難デヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キ恩給制度ノ根本ヲ研究スルト云フ必要ハ痛切ニ感ゼラレ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 御答ガ、只今御研究ニ能クナルト云フコトデアリマスカラ、ソレデヤマア此ノ點ハ將來御研究ヲ願シテ置クコトニ致シテ置キマセウ、ソレデ下士ノ御話ガ出タノデ、是ハ陸軍ノ政府委員ガオイデニナルノデ、サウ云フコトヲ伺ッテ宜イカ悪イカ存ジマセヌガ、我々素人デ何ニモ存ジマセヌガ、隨分下士ノ制度ト云フモノハ今社會上ト兩立シナインノデ、アレヲヤルト云フト、後ト就職スルノニ非常ニ營後、少尉ニ任官シテ歸郷スルト云フコトニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイ成績ニ依リマスケレドモ、所要ノ人員ニモ依リマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレハ伍長若シクハ軍曹デ、ソレデ退營スルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ下士ノ補充ニハ幹部候補生ノ方デ多少補ヒガ付クコトニ本年カラナルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマスカラ、餘リ詳シク申上ゲラレマセ

方法デアリマスケレドモ、一面色々ナ政策の意味カラ考ヘマシテ、此ノ以上ニ年限ヲ延バスト云フコトハ困難デヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キ恩給制度ノ根本ヲ研究スルト云フ必要ハ痛切ニ感ゼラレ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 御答ガ、只今御研究ニ能クナルト云フコトデアリマスカラ、ソレデヤマア此ノ點ハ將來御研究ヲ願シテ置クコトニ致シテ置キマセウ、ソレデ下士ノ御話ガ出タノデ、是ハ陸軍ノ政府委員ガオイデニナルノデ、サウ云フコトヲ伺ッテ宜イカ悪イカ存ジマセヌガ、我々素人デ何ニモ存ジマセヌガ、隨分下士ノ制度ト云フモノハ今社會上ト兩立シナインノデ、アレヲヤルト云フト、後ト就職スルノニ非常ニ營後、少尉ニ任官シテ歸郷スルト云フコトニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマス、ソレカラ乙ト云フ方ハ、大體ニナリマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイ成績ニ依リマスケレドモ、所要ノ人員ニモ依リマスカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體半分位ニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレハ伍長若シクハ軍曹デ、ソレデ退營スルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ下士ノ補充ニハ幹部候補生ノ方デ多少補ヒガ付クコトニ本年カラナルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマス、是ニハ色々ナ事情ガアルノデアリマスカラ、餘リ詳シク申上ゲラレマセ

ノデアリマス、旁、致シマシテ今ノ幹部候補生制度ノ一面ヲ補ヒ、又他ニ下士官ノ養成ニ付テ、又一般ノ軍備充實ノ計畫ニ依リマシテ、ソレヲ考究致シテ居ルノデアリマス是ハ軍機トカ何トカソンナコトニ關係ナク、其ノ社會上ノ問題、或ハ財政上ノ問題トシテ「プロフェッショナル」ノ下士ト云フモノガアルト云フノガ、ドウモ少シ時勢ト相容レナイヤウニ思ハレルノデスガ、其ノ點ハ急ニ止メルコトハ出來ナイモノデセウカ

○政府委員(加藤久米四郎君) 私ノ御答へ

申上ゲマスルコトガ十分デアリマスルカドウカ、豫々御斷リ致シテ置キマスガ、普通ノ徵兵デ以テ入營致シマシタ中デ、下士ヲ採用スルト云フ制度ニナルト思ヒマスガ、或方々ニ依ツテ餘程違フノデアリマス、下士ノ志願者ノ多イ所ト、下士ノ志願者ノ少イ所ト、土地ノ情況ヤ職業別ナドニ依リマシテ餘程違フノデアリマス、多イ所ハ却テ後ノ運用ニ困ルコトガアリマス、少イ所ニハ欲シイ者ガ採レナイコトガアリマス、ソレカラ下士ハ其ノ附屬聯隊カラ他ニ轉任サセルコトハ出來マセヌ、サウ云フコトカラ致シマシテ困難ヲ感ズル次第デアリマス、

ト宜シイノデアリマスケレドモ、今ノ軍制ニ於テソレハ出來マセヌ、ソレデアリマスカラ過不足ガアル、過不足ガアリマスル時ニ技倆、手腕、其ノ者ノ學識、體力ナドニ付テモ、一般ニ一概ニ言ヘナイノデアリマス、デアリマスカラ此ノ點餘程研究致シマセヌト云フト、唯ソレ許リデ參ラヌノデアリマス、デアリマスカラ餘程研究シナケレバナラヌカト思ツテ居リマス、デアリマスカラモットヨク、軍ノ方カラ申シマスルト優遇ト云フコトハ、下士タル身分ノ者ノ將來ノ發達ヨリハ、寧ロ優遇ノ方、ソレヲ考ヘテヤラナケレバナラナイト思ヒマス、サウ云フ事ハ目下色々ト研究中デゴザイマシテ、具體的ニハ申上ゲラレマセヌケレドモ、大體是レダケノコトヲ御答ヘ申上ゲテ置キマス

私ガ申上ゲマスルモドウカト思ヒマスケレ
軍隊ノ經験ヲ有ツテ居ル方々が居ラレマズ、
ドモ、實際精兵ハ矢張リ多年軍隊生活ヲ
致シタ者デナイト精兵良兵ハ得ラナイ、
唯技術的ニ戰鬪技術其ノ他ノ軍隊ノ教養
ヲ經タカラト云フテ直グ間ニ合ハナイ、精兵
ハ矢張リ長年間軍隊生活ヲヤツテ、サウシテ
訓練シマセヌト間ニ合ハヌコトヲハツキリ
承知致シテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ
今ノ例へバ入營シタ壯丁ノ中デ、相當ニ堪
能ナ者ヲ直チニ下士ニ採用スル、是ハ伍長
勤務上等兵デヤツテ居リマスケレドモ、アレ
ハ餘程良イ者ガ要リマスケレドモ、ドウモ
矢張リ足リマセヌノデ、ソレデアリマスカ
ラ特殊ノ學校ガ設ケラレマシテ、教養ナリ
訓練ナリ、或ハ再教育ナリシテ居リマスノ
ハソレデアリマスガ、ナカ／＼サウハ參ラ
ヌノデアリマス

○政府委員(高木三郎君) 何レモ研究致シ
テ居リマス、但シ國家ノ財政ト云フ立場カラ考ヘマシテ、財政上ニ影響ヲ及スト云フ意味ニ於テ效果的デアルト云フコトカラ申シマスレバ、恩給年限ノ延長ガ一番優遇ナシデアリマス、此ノ制限ニ掛リマスヤウナ、停止制限ニナリマスヤウナモノハ、全體ノ中カラ云ツテ極メテ僅少デアリマシテ、實ハ今回ノ改正ニモ多少考ヘテ見タ、停止制限ヲ或程度ノ財源トスルト云フ積リデ考ヘテ見タノデアリマスケレドモ、是ハ財源トシテ極メテ僅カナンデ、全般的ノ恩給制度ノ根本ニ影響ヲ及スヤウナ額ニハナラヌ、矢張リ國家財政ノ立場カラ恩給ヲ若シ將來整理スルト云フヤウナ時代ガアリトシマスレバ、矢張リ一番效果的ナノハ年限ノ延長ダト思ヒマス、其ノ何レモ將來尙恩給當局ト致シマシテハ研究ヲ續ケル積リデアリマス成トモ不賛成トモ申シマセヌガ、今ノ停止ノヤウナコトデ、マア四十二ニナラナケレバ皆實ヘナイトカ、或ハ五十九ニナラナケレバ

貰へナイト云フヤウニシタラバ、理想ヲ言
ヘバ六十カモ知リマセヌガ、六十デハ餘り
ヒドイ、過渡ノ時代ハ五十位デ宜イト思ヒマ
スガ、五十ニナル迄ハ權利ハ現實ニ効イテ
來ナイデ、五十ニ達シテ初メテ恩給ガ取レ
ルト云フヤウニデモシタラバ、餘程財政上
大キナ問題ニナリヤシナイカ、相當ノ額ガ
出ヤシマセヌカ

○政府委員(高木三郎君) 大體ノ受給年齢

カラ申シマスト、文官ニシマシテハ學校ノ
卒業年齢等カラ考ヘマシテ、五十以上ニナ
ラナケレバ恩給年限ニ達シナイ者ガ多イノ
デアリマス、ソレデスカラ受給年數ヲ統計
ニ取リマスト、比較的受給年數ト云フモノ
ハ少イノデアリマス、恩給ニナリマシテカ
ラ失權スル迄ノ年齢ヲ計算致シマスト、比較
的其ノ年限ト云フモノハ短イモノデスカラ、
ソレ等カラ考ヘマシテ、サウ大シテ影響ガ
ナインデヤナイカト云フ風ニ考ヘマス、ソ
レトモウ一つハソレ程ノ大キナ影響ガナイ
トスレバ、寧ロ殘存能力ヲ持ッテ居ル者ヲ
働カセル、恩給ヲ持ッテカラ、外ノ職ニ就ケ
バ恩給ヲ停止シテシマフト云フコトニナリ
マスレバ、自然恩給デ徒食スル者ガ多クナ
ルンデヤナイカ、殘存能力ヲ働カシテ收入
ヲ他ニ得サセル方ガ國家的ニ却テ宜インデ

○子爵大河内輝耕君 私ハ其ノ唯何ノ方ヲ

考ヘテ居ルノデスガ、軍人ノ下士以下ノ所
ヲ考ヘテ居ルノデスガ、是ハ何デセウ、四
十位マデニシタラバ、四十カラ前ハ貰ヘ
ナイトスレバ餘程金ガ出テ來マセウ

○政府委員(高木三郎君) 之ヲ四十二制限

年額ガ四百圓五十五錢、假ニ五萬五千人ガ
現在恩給ノ中デ矢張リ一番多イノハ軍人ノ
恩給デアリマスシ、平時ニ於キマシテ一番
多イノハ矢張リ下士以下ノ軍人デスガ、殊
ニ海軍ノ下士以下ノ軍人ノ恩給ガ多イノデ
スカラ、之ヲ或程度ニ停止年齢ヲ引上ゲル
シマシタラバ相當ノ額ニ上ルト思ヒマス、
四百圓ノ恩給ヲ受ケラレテモ、二千二百萬
圓ニ達スルノデス、何カ少シニハ増加恩
給ガアリマスシ、少し御間違ガアルノデヤ
ナイカ、ソレカラ一時賜金ト云フコトニ付
テモ、御考ニナリマシタデセウカ、大體伺
テ置キタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 決シテ私ハ宜イトカ
惡イトカ申スノデハナイ、御研究ヲ願ッテ
置キマス

○委員長(三井清一郎君) 本日ハ此ノ程度

ガ千五百萬圓ト云フ風ニ申上ゲタ筈デアリ
マス、其ノ中デ内容ヲ申上ゲマスト、戦病
死者遺族ノ扶助料ガ約九百萬圓ヲ増加致ス
ノデアリマス、ソレカラ增加恩給ガ約四百
萬圓、ソレデ大體ニ於キマシテ其ノ其他ノ部
分の修正等ヲ加ヘマシテ約千五百萬圓ト
云フコトニナリマスガ、更正サレマス詰リ
モ正確ニ申上ゲラレマセヌシ、是ハ豫算ト云フヨリ
申上ゲラレマセヌシ、是ハ豫算ト云フヨリ
モ當然ニ交付サレルモノデアリマスカラ、
豫算トシテ申上ゲルコトハ出來マセヌデゴ
ザイマス、豫想出來マセヌノデアリマスカ
ラ、唯一人當リノ金額ト云フコト以上ニ申

○野村徳七君 一時賜金ト云フコトニ對シ
付テ御考ニナリマシタデスカ、ナリマセヌ
デスカ

○政府委員(加藤久米四郎君) 一時賜金ニ
付テノ質問デゴザイマスカ、失禮デゴザイ
マスガモウ一度承リタイト思ヒマス、御問
ヒノ筋ヲ……

○野村徳七君 一時賜金ノ總額ヲ給付サレ
ル額デスネ、凡ゾ斯ウ云フ風ニ恩給ニ伴ウ
テ……

○政府委員(加藤久米四郎君) 是ハ本法律
ニ關係モゴザイマセヌシ、ソレカラ目下マ
ダ戦鬪モ繼續中デアリマスシ、戰死者ノ數
モ正確ニ申上ゲラレマセヌシ、概數以上ハ
申上ゲラレマセヌシ、是ハ豫算ト云フヨリ
モ當然ニ交付サレルモノデアリマスカラ、
豫算トシテ申上ゲルコトハ出來マセヌデゴ
ザイマス、豫想出來マセヌノデアリマスカ
ラ、唯一人當リノ金額ト云フコト以上ニ申

上ダラマセヌ

○委員長(三井清一郎君) 本日ハ此ノ程度
デ散會致シマス、明日午前十時カラ開會致
シマス

午後四時九分散會

出席者左ノ如シ

三井清一郎君

委員長

副委員長 男爵渡邊 修二君

委員

侯爵大隈 信常君

侯爵井上 三郎君

伯爵山田 英夫君

子爵大河内輝耕君

子爵裏松 友光君

子爵大岡 忠綱君

宇佐美勝夫君

内田 重成君

男爵前田 勇君

男爵柴山 昌生君

丸山 鶴吉君

深井 英五君

濱口儀兵衛君

野村 德七君

米原 章三君
岩崎 清行君

政府委員

内閣恩給局長 高木 三郎君

法制局長官 船田 中君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

海軍政務次官 一宮房治郎君
海軍參與官 岸田 正記君